



正本

別記様式第1

消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書

令和7年4月22日

貝塚市消防長 殿

届出者

住所 貝塚市島中1丁目17番1号
氏名 貝塚市 貝塚市長 酒井了
電話番号 072-423-2151

下記のとおり消防用設備の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。

記

消防 火 対 象 物	所在地	大阪府貝塚市東山7丁目10番1号		
	名称	貝塚市 山手地区公民館		
	用途	公民館 (1フロア)		
	規模	地上 3 階 地下 階 延べ面積 2201.5 ㎡		
点検期間		2025年3月4日		
消防用設備等の種類		・消火器具・誘導灯及び誘導標識・自動火災報知設備・屋内消火栓設備・漏電火災警報器・避難器具・非常放送設備・防火扉		
		※備考		
		消防法の規定に基づき不良箇所を早急に改修すること		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 点検者が複数の場合は、別紙に記入し、添付すること。
3 消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
4 ※印欄は、記入しないこと



消防設備等(特殊消防設備等)点検結果総括表

名 称	貝塚市 山手地区公民館			防火管理者	
所 在	大阪府貝塚市東山7丁目10番1号			点検実施責任者	
点検種別	総合点検	点検年月日	2025年3月4日		
設 備 名	点 検 結 果		処 置 内 容	立 会 者	
	判 定	不 良 内 容			
消 火 器 具	○良・不良				
誘 導 灯 及 び 誘 導 標 識	○良・不良				
自 動 火 災 報 知 設 備	良・○不良	発信機 表示灯 球切れ			
屋 内 消 火 栓 設 備	良・○不良	ホース劣化	交替有		
漏 電 火 災 警 報 器	○良・不良				
避 難 器 具	○良・不良				

備≧1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消防設備等(特殊消防設備等)点検結果総括表

設 備 名	点 検 結 果		処 置 内 容	立 会 者
	判 定	不 良 内 容		
非常警報器具及び設備	○良・不良			
防 排 煙 設 備	○良・不良			

備 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第3

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表

点検者					設備名
住所					・消火器具・誘導灯及び誘導標識・自動火災報知設備・屋内消火栓設備・漏電火災警報器・避難器具・非常放送設備・防火扉
氏名					
資格	消防設備士				
種類等	交付年月日	交付番号	交付知事	受講年月	
甲種 特類					
甲・乙 1類					
甲・乙 2類					
甲・乙 3類					
甲 4類					
甲・乙 5類					
甲・乙 6類					
甲・乙 7類					
備考					
種類等	交付年月日	交付番号		有効期限	
特 種					
第 1 種	2019/4/25	第142003083号		2025/3/31	
第 2 種	2019/4/26	第242100293号		2025/3/31	

点検者					設備名
住所					・消火器具・誘導灯及び誘導標識・自動火災報知設備・屋内消火栓設備・漏電火災警報器・避難器具・非常放送設備・防火扉
氏名					
資格	消防設備士				
種類等	交付年月日	交付番号	交付知事	受講年月	
甲種 特類					
甲・乙 1類					
甲・乙 2類					
甲・乙 3類					
甲・乙 4類					
甲・乙 5類					
甲・乙 6類					
甲・乙 7類					
備考					
種類等	交付年月日	交付番号		有効期限	
特 種					
第 1 種					
第 2 種					

備考 1. この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 住所、電話番号の欄は、点検者が法人に属する場合は、所属会社の住所、電話番号を記入すること。

3 資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の区分、種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習（再講習）受講年月日を記載すること。

4 誘導灯及び誘導標識の点検を実施した者は、備考欄に電気工事士法（昭和35年法律第139号）第3条に規定する電気工事士免状又は電気事業法（昭和39年法律第170号）第44条第1項に規定する第一種電気主任技術者免状、第二種電気主任技術者免状若しくは第三種電気主任技術者免状のいずれかの免状の種類、交付番号及び交付年月日を記載すること。（第二種消防設備点検資格者の免状の交付を受けている者を除く。）

別記様式第3

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表

点 検 者					設 備 名
住所					・消火器具・誘導 灯及び誘導標識・ 自動火災報知設 備・屋内消火栓設 備・漏電火災警報 器・避難器具・非 常放送設備・防火 扉
氏名					
資格	消防設備士				
種 類 等	交付年月日	交付番号	交付知事	受講年月	
甲種 特類					
乙 1 類					
乙 2 類					
乙 3 類					
甲 4 類					
乙 5 類					
乙 6 類					
乙 7 類					
備考					
種 類 等	交付年月日	交付番号	有効期限		
特 種					
第 1 種					
第 2 種					
点 検 者					
住所					・消火器具・誘導 灯及び誘導標識・ 自動火災報知設 備・屋内消火栓設 備・漏電火災警報 器・避難器具・非 常放送設備・防火 扉
氏名					
資格	消防設備士				
種 類 等	交付年月日	交付番号	交付知事	受講年月	
甲種 特類					
甲・乙 1 類					
甲・乙 2 類					
甲・乙 3 類					
甲・ 4 類					
甲・乙 5 類					
甲・乙 6 類					
甲・乙 7 類					
備考					
種 類 等	交付年月日	交付番号	有効期限		
特 種					
第 1 種					
第 2 種					

- 備考 1. この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 住所、電話番号の欄は、点検者が法人に属する場合は、所属会社の住所、電話番号を記入すること。
- 3 資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の区分、種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習（再講習）受講年月日を記載すること。
- 4 誘導灯及び誘導標識の点検を実施した者は、備考欄に電気工事士法（昭和35年法律第139号）第3条に規定する電気工事士免状又は電気事業法（昭和39年法律第170号）第44条第1項に規定する第一種電気主任技術者免状、第二種電気主任技術者免状若しくは第三種電気主任技術者免状のいずれかの免状の種類、交付番号及び交付年月日を記載すること。（第二種消防設備点検資格者の免状の交付を受けている者を除く。）

消 火 器 具 点 検 票												
名 称	貝塚市 山手地区公民館						防火管理者					
所 在	大阪府貝塚市東山7丁目10番1号						立 会 者					
点検種別	総合点検		点検年月日		2025年3月4日							
点検者			点 検 者 所 属 会 社									
点 検 項 目			点 検 結 果						措 置 内 容			
			消 火 器 の 種 別								判 定	不 良 内 容
			A	B	C	D	E	F				
機 器 点 検												
設 置 状 況	設 置 場 所	○	—	○	○	—	—	○				
	設 置 間 隔	○	—	○	○	—	—	○				
	適 応 性	○	—	○	○	—	—	○				
	耐 震 措 置	○	—	/	/	—	—	/				
表 示 ・ 標 識		○	—	○	○	—	—	○				
消 火 器 の 外 形	本 体 容 器	○	—	○	○	—	—	○				
	安 全 栓 の 封	○	—	○	○	—	—	○				
	安 全 栓	○	—	○	○	—	—	○				
	使用済みの表示装置	○	—	○	○	—	—	○				
	押し金具・レバー等	○	—	○	○	—	—	○				
	キ ャ ッ プ	○	—	○	○	—	—	○				
	ホ ー ス	○	—	○	○	—	—	○				
	ノズル・ホーン・ノズル栓	○	—	○	○	—	—	○				
	指 示 圧 力 計	○	—	○	/	—	—	○				
	圧 力 調 整 器	—	—	/	/	—	—	/				
安 全 弁	○	—	○	○	—	—	○					
保 持 装 置	—	—	/	/	—	—	/					
車 輪 (車 載 式)	—	—	/	/	—	—	/					
形	—	—	/	/	—	—	/					

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器
Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄に内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消 火 器 内 部 機 能	本・ 体内 容筒 器等 消薬 火剤	本体容器	/	—	/	—	—	—	/		
		内筒等	/	—	/	—	—	—	/		
		液面表示	/	—	/	—	—	—	/		
		性状	/	—	/	—	—	—	/		
		消火薬剤量	/	—	/	—	—	—	/		
	加圧用ガス容器	加圧用ガス容器	/	—	/	—	—	—	/		
		カッター・押し金具	/	—	/	—	—	—	/		
		ホース	/	—	/	—	—	—	/		
		開閉式ノズル・切替式ノズル	/	—	/	—	—	—	/		
		指示圧力計	/	—	/	—	—	—	/		
		使用済みの表示装置	/	—	/	—	—	—	/		
		圧力調整器	/	—	/	—	—	—	/		
		安全弁・減圧孔・排圧栓	/	—	/	—	—	—	/		
		粉上り防止用封板	/	—	/	—	—	—	/		
		パッキン	/	—	/	—	—	—	/		
サイホン管・ガス導入管	サイホン管・ガス導入管	/	—	/	—	—	—	/			
	ろ過網	/	—	/	—	—	/	/			
	放射能力	/	—	/	—	—	—	/			
消火器の耐圧性能		/	—	/	—	—	—	/			
簡 易 消 火 具	外形	/	/	/	/	/	/	/			
	水量等	/	/	/	/	/	/	/			
備考											
測 定 機 器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名			
	バネばかり	MD44S-876									
	キャップスパナ										
型式		設置数	点検数	合格数	要修理数	廃棄数					
粉末ABC10型		12	12	12	0						
二酸化炭素7型		1	1	1	0						

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消火器一覧表

貝塚市 山手地区公民館

2025年3月4日

記番	設置場所	種別	型式	製造者	年式	製造番号	備考	判定
1	1Fエレベータ前	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2024	906693		○
2	1Fホール入口	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2024	906710		○
3	1Fホール勝手口	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2024	906687		○
4	2Fトイレ前	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2024	906721		○
5	2F講座室横	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2024	906802		○
6	1F保育室	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2024	906642		○
7	1F事務所前	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2024	906692		○
8	1Fステージ裏通路	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2024	906686		○
9	2F視聴覚室前	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2024	906801		○
10	2F創作室横	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2024	906698		○
11	3F機械室	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2024	906728		○
12	3Fエレベータ前	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2024	906716		○
13	キュービクル前	CO2	YC-7XⅡ	ヤマト	2016	001448		○

別記様式第16

誘 導 灯 及 び 誘 導 標 識 点 検 票										
名 称	貝塚市 山手地区公民館					防火管理者				
所 在	大阪府貝塚市東山7丁目10番1号					立会者				
点 検 種 別	総合点検		点検年月日	2025年3月4日						
点 検 者			点検者 所属会社							
点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容			
			種別・容量等の内容		判 定	不 良 内 容				
			避 難 口	通 路						客 席
機 器 点 検										
誘 導 灯	外箱・表示面	種 類	○	○	—	○				
		視認障害等	○	○	—	○				
		外 形	○	○	—	○				
		表 示	1	2	—	×	パネル割れ、焼け	パネル割れ テープ補修		
	非 常 電 源 (内 蔵 型)	外 形	○	○	—	○				
		表 示	○	○	—	○				
		機 能	2	2	—	×	点滅用蓄電池不良 バッテリー不良			
	光 源		○	○	—	○				
	点 検 ス イ ッ チ		○	○	—	○				
	ヒ ュ ー ズ 類		○	○	—	○				
	結 線 接 続		○	○	—	○				
	信 号 装 置 等	外 形	/	/	/	/				
結 線 接 続		/	/	/	/					
機 能		/	/	/	/					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第16

(その2)

誘 導 標 識	外 形		/	/	—	/		
	視 認 障 害 等		/	/	—	/		
	採 光 又 は 照 明		/	/	—	/		
	※ 表 示 面 の 輝 度		/	/	—	/		
	※※ 設 置 場 所 の 照 度		/	/	—	/		
	※ ※ ヒ ュ ー ズ 類		/	/	—	/		
	※ ※ 結 線 接 続		/	/	—	/		
	※※※非常電源	外 形	/	/	—	/		
		表 示	/	/	—	/		
機 能		/	/	—	/			
備 考	誘導灯一覧参照 不良個所の誘導灯は機器古くなっていますので本体交換推奨							
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校 正 年 月	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名
	回路計	MCL-400IR		マルチ計測器				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 票中※印のあるものは、消防法施行規則第28条の2第1項第3号ハ、規則第28条の3第4項第3号の2、第10号に規定する蓄光式誘導標識、「誘導灯及び誘導標識の基準」(平成11年消防庁告示第2号)第五第三号(四)に規定する高輝度蓄光式誘導標識に限る。

7 票中※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識に限る。

8 票中※※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識のうち、内蔵型の電源を有するものに限る。

誘導灯一覧表

名称 **貝塚市 山手地区公民館**

2025年3月4日

[illegible]

別記様式第26

配 線 点 検 票 (設 備 名 誘導灯及び誘導標識)									
名 称	貝塚市 山手地区公民館					防 火 管 理 者			
所 在	大阪府貝塚市東山7丁目10番1号					立 会 者			
点 検 種 別	総合点検		点検年月日	2025年3月4日					
点 検 者			点 検 者 所 属 会 社						
点 検 項 目	点 検 結 果					措 置 内 容			
	種 別 ・ 容 量 等 の 内 容 判 定 不 良 内 容								
総 合 点 検									
専 用 回 路	事務室分電盤				/				
開 閉 器 ・ 遮 断 機	20 A				○				
ヒ ュ ー ズ 類					/				
絶 縁 抵 抗	常用 20 MΩ 非常 MΩ				○				
耐 熱 保 護					/				
備 考									
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	
	絶縁抵抗計	2406D		YOKOGAWA					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

自動火災報知設備点検票						
名称	貝塚市 山手地区公民館			防火管理者		
所在	大阪府貝塚市東山7丁目10番1号			立 会 者		
点検種別	総合点検		点検年月日	2025年3月4日		
点検者			点 検 者 所 属 会 社			
点検設備名	受 信 機		製造者名 ニッタン(株) 1990年12月			
			型 式 等 受第61～18～4号 1PF1-nye			
点 検 項 目	点 検 結 果			措 置 内 容		
	種 別 ・ 容 量 等 の 内 容			判 定 不 良 内 容		
機 器 点 検						
予備電源・非常電 源(内蔵型)	外 形	Ni-cd		○		
	表 示	24V 1.2A		○		
	※ 端 子 電 圧	25 V		○		
	※ 切 替 装 置	自動切替		○		
	※ 充 電 装 置	トリクル充電		○		
	※ 結 線 接 続			○		
受信機・中継器	周 囲 の 状 況	1F事務所内		○		
	外 形	P-1		○		
	表 示	火災受信所		○		
	警 戒 区 域 の 表 示 装 置	16/20 回線		○		
	電 圧 計	24 V		○		
	ス イ ッ チ 類	レバー式		○		
	ヒ ュ ー ズ 類	1-6 A		○		
	※ 継 電 器			○		
	表 示 灯			○		
	通 話 装 置			○		
	※ 結 線 接 続			○		
	接 地	D種接地工事		○		
	附 属 装 置			/		
	※ 火 災 表 示 等	蓄 積 式			○	
アナログ式				/		
二 信 号 式				/		
そ の 他				/		
※ 注 意 表 示				/		
中 継 器	回 路 導 通			○		
	設 定 表 示 温 度 等			/		
	感 知 器 作 動 等 の 表 示			/		
	予 備 品 等	ヒューズ等		○		

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 - 6 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

別記様式第11

自動火災報知設備(その2)

感 知 器	外 形		○		
	警 戒 状 況	未 警 戒 部 分		○	
		感 知 区 域		○	
		適 応 性		○	
		機 能 障 害		○	
	※	ス ポ ッ ト 型	差動 定温(再) 熱アナログ	○	
	分 布 型	空 気 管 式		/	
		熱電対式・熱半導体		/	
		感 知 線 型		/	
	※	ス ポ ッ ト 型	イオン 光電 アナログ	○	
		分 離 型		/	
	※	炎 感 知 器	赤外線 紫外線	/	
	※	多信号感知器・複合式感知器		/	
	※	遠隔試験機能を有する感知器		/	
	発 信	周 囲 の 状 況		○	
機 音 響 装 置	外 形	P-1	○		
	表 示	AC24V	○		
	押しボタン・送受話器	DC24V	○		
	表 示 灯		×	備考欄参照	
機 音 響 装 置	外 形		○		
	取 付 状 態		○		
	音 圧 等		db	○	
	鳴 動 方 式	一斉 区分 相互 再鳴動	○		
※	蓄 積 機 能		○		
※	二 信 号 機 能		/		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。

7 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

別記様式第11

自動火災報知設備(その3)

自動試験機能	予備電源・非常電源		○					
	受信機の火災表示		○					
	受信機の注意表示		○					
	受信機・中継器の制御機能・電路		○					
	感知器		○					
	感知器回路・ベル回路		○					
総合点検								
同時作動			○					
※煙感知器等の感度 (自動試験機能を有するものを除く。)			○					
地区音響装置の音圧		95 dB	○					
※総合作動 (自動試験機能を有するものを除く。)			○					
備考	和室横の発信機表示灯 球切れ							
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	加熱試験器	TS-201		大阪消防設備	回路計	MCL-400IR		マルチ計測器
	加煙試験器	TS-201		大阪消防設備	騒音計	MS8209		MASTECH
	加煙試験器	FTGJ001-Z		能美防災				
	加熱試験器	HK-3		能美防災				

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 - 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類
 - 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不能。

別記様式第26

配線点検票（設備名 自動火災報知設備）															
名称	貝塚市 山手地区公民館				防火管理者										
所在	大阪府貝塚市東山7丁目10番1号				立会者										
点検種別	総合点検	点検年月日	2025年3月4日												
点検者		点検者所属会社													
点検項目	点検結果					措置内容									
	種別・容量等の内容判定不良内容														
総合点検															
専用回路	事務室分電盤			○											
開閉器・遮断機	A			○											
ヒューズ類				/											
絶縁抵抗	常用 20 MΩ 非常 ー MΩ			○											
耐熱保護				○											
備考															
測定機器								機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
								絶縁抵抗計	2406D		YOKOGAWA				

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

屋内消火栓設備点検票										
名 称		貝塚市 山手地区公民館				防火管理者				
所 在		大阪府貝塚市東山7丁目10番1号				立 会 者				
点 検 種 別		総合点検		点 検 年 月 日		2025年3月4日				
点 検 者				点 検 者 所 属 会 社						
点 設 備 検 名		ポ ン プ		製造者名 荏原製作所			電 動 機		製造者名 荏原製作所	
				型 式 等 GMST6324122					型 式 等 3.7kw 4P 1K	
点 検 項 目				点 検 結 果				措 置 内 容		
				種 別 ・ 容 量 等 の 内 容 判 定 不 良 内 容						
機器点検										
水	貯	水	槽	種別	地下	水槽	○			
	水		量			m ³	○			
	水		状				○			
	給	水	装 置				○			
	水	位	計				○			
	圧	力	計				○			
	バ	ル	ブ 類				○			
	源 加 圧 送 水 装 置	ポ	電	周 囲 の 状 況		ポンプ室	○			
		ン 機 の 制 御 装 置	動	外 形			○			
			機	表 示			○			
			電 圧 計 ・ 電 流 計	210 V	23 A	○				
			開 閉 器 ・ スイッチ類			○				
			ヒ ュ ー ズ 類		A	○				
			継 電 器			○				
			表 示 灯			○				
			結 線 接 続			○				
			接 地		D種接地工事	○				
式	置	予 備 品 等			○					

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第2

屋内消火栓設備(その2)

加 圧 送 水 方 式 装 置	起 動	直 接 操 作 部	周 囲 の 状 況	ポンプ室	○		
			外 形		○		
			表 示		○		
			機 能		○		
	動	遠 隔 操 作 部	周 囲 の 状 況		○		
			外 形		○		
			表 示		○		
			機 能	専用 兼用	○		
	装	遠隔起 動部	周 囲 の 状 況		/		
			外 形		/		
			機 能		/		
	置	開閉装 置 起動用 水圧	圧 カ ス イ ッ チ	設定圧力 MPa	/		
			起動用圧力タンク	MPa	/		
			機 能	作動圧力 MPa	/		
	電	外 形	11KW	○			
			回 転 軸	3600 rpm	○		
			軸 受 部	グリス潤滑	○		
			軸 継 手	グランドパッキン	○		
	機	機 能		○			
			外 形		○		
			回 転 軸	3600 rpm	○		
			軸 受 部	グリス潤滑	○		
	ン	グ ラ ン ド 部	グランドパッキン	○			
			連 成 計 ・ 圧 力 計	○			
			性 能	0.6 MPa 270 ℓ/min	○		
			呼 水 槽	100 ℓ	○		
	装	バ ル ブ 類		○			
			自 動 給 水 装 置	ボールタップ式	○		
			減 水 警 報 装 置		○		
			フ ー ト 弁		○		
式	性 能 試 験 装 置		○				
		高 架 水 槽 方 式	MPa	/			
		圧 力 水 槽 方 式	MPa	/			
減 圧 の た め の 措 置				/			

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第2

屋内消火栓設備(その3)

配管等	管・管継手			○				
	支持金具・つり金具			○				
	バルブ類			○				
	ろ過装置			○				
	逃し配管			○				
屋内	消火栓箱		周囲の状況	○				
			外形	○				
			表示	○				
消火栓	ホース・ノズル	外形 1 号 消 火 栓	ホース ノズル径 15 m× 2本 13 mm	×	ホース劣化			
		易操作性 1号消火栓・2号消火栓	鑑栓第 - 号	/				
		操 作 性		○				
		ホースの耐圧性能	12 本	○				
		消 火 栓 開 閉 弁	40ミリ差し込み式	○				
等		表 示 灯	専用 (兼用)	○				
		始 動 表 示 灯		○				
		使 用 方 法 の 表 示		○				
耐	震 措 置			/				
総 合 点 検								
ポンプ	起動性能等	加 圧 送 水 装 置		○				
		表 示 ・ 警 報 等		○				
		電 動 機 の 運 転 電 流	A	○				
		運 転 状 況		○				
	方		放 水 圧 力	MPa	○			
式		放 水 量	ℓ/min	○				
		減 圧 の た め の 措 置		○				
	高架水槽方式・ 圧力水槽方式		放 水 圧 力	MPa	/			
		放 水 量	ℓ/min	/				
		減圧のための措置		/				
備	ホース全数耐圧試験必要ですが、買い換えた方が経済的です							
考								
測	機器名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名
定	ピトゲージ	TS-6020		日本サイレン	耐圧試験機	EHM-406		マルヤマエクセル
機	絶縁抵抗計	MCL-400IR		マルチ計測器				
器	回路計	2406D		YOKOGAWA				

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消火栓設備一覧表

名称

貝塚市 山手地区公民館

点検種別		総合点検	起動方式	自火報連動	
設置階・設置場所		起動スイッチ	起動確認灯	位置表示灯	内容
1	1F保育室前	○	○	○	ホース1991
2	1F湯沸室前	○	○	○	ホース1991
3	1Fステージ裏	○	○	○	ホース1991
4	2Fステージ	○	○	○	ホース1991
5	2F湯沸室前	○	○	○	ホース2010
6	3F	○	○	○	ホース1991
7					
8					
9					
備考					

別記様式第26

配 線 点 検 票 (設 備 名										屋内消火栓設備										)			
名 称		貝塚市 山手地区公民館										防 火 管 理 者											
所 在		大阪府貝塚市東山7丁目10番1号										立 会 者											
点 検 種 別		総合点検				点検年月日				2025年3月4日													
点 検 者						点 検 者 所 属 会 社																	
点 検 項 目		点 検 結 果										措 置 内 容											
		種 別 ・ 容 量 等 の 内 容										判 定		不 良 内 容									
		総 合 点 検																					
専 用 回 路		キュービクル										○											
開 閉 器 ・ 遮 断 機		A										○											
ヒ ュ ー ズ 類												○											
絶 縁 抵 抗		常用 20 MΩ 非常 ー MΩ										○											
耐 熱 保 護												○											
備 考																							
測 定 機 器		機 器 名 型 式		校 正 年 月 日		製 造 者 名		機 器 名 型 式		校 正 年 月 日		製 造 者 名											
		絶縁抵抗計		2406D				YOKOGAWA															

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

(その1)

漏電火災警報器点検票						
名 称	貝塚市 山手地区公民館				防火管理者	
所 在	大阪府貝塚市東山7丁目10番1号				立会者	
点検種別	総合点検	点検年月日	2025年3月4日			
点 検 者		点 検 者 所 属 会 社				
点 検 名	受 信 機	製造者名 型 式 等	変流器	製造者名 型 式 等		
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容	
		種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容		
機 器 点 検						
受信機	周 囲 の 状 況		○			
	外 形	1級 2級	○			
	表 示	互換性	○			
	電 源 表 示 灯		○			
	ス イ ッ チ 類	自動復帰	○			
	フ ュ ー ズ 類	0.1 A	○			
	試 験 装 置		○			
	表 示 灯		○			
	結 線 接 続		○			
	接 地	B種接地工事	○			
	感 度 調 整 装 置	設定値 800 mA	○			
	予 備 品 な ど		○			
変流器	外 形		○			
	表 示		○			
	未 警 戒		／			
	容 量	A	○			
音響装置	外 形		○			
	取 付 状 態		○			
	音 圧 な ど		○			
遮断機構	周 囲 の 状 況		／			
	外 形		／			
	定 格 電 流 容 量		／			
	作 動 状 況		／			

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

総 合 点 検								
作 動 範 囲	- 6 0 % ~ + 0 %			○				
漏 電 表 示 灯				○				
音 響 装 置 の 音 圧				○				
遮 断 機 構				/				
備 考								
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名
	回 路 計	MCL-400IR		マルチ計測器				
	継電器試験器	BCT-25K		SOUKOU				
	騒 音 計	MS8209		MASTECH				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

配 線 点 検 票 (設 備 名					漏電火災警報器			
名 称	貝塚市 山手地区公民館				防 火 管 理 者			
所 在	大阪府貝塚市東山7丁目10番1号				立 会 者			
点 検 種 別	総合点検	点検年月日	2025年3月4日					
点 検 者		点 検 者 所 属 会 社						
点 検 項 目	点 検 結 果					措 置 内 容		
	種 別 ・ 容 量 等 の 内 容			判 定 不 良 内 容				
総 合 点 検								
専 用 回 路	キュービクル			○				
開 閉 器 ・ 遮 断 機	20 A			○				
ヒ ュ ー ズ 類				/				
絶 縁 抵 抗	常用 20 MΩ 非常 - MΩ			○				
耐 熱 保 護				/				
備 考								
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名
	絶縁抵抗計	2406D		YOKOGAWA				

別記様式第15

避難器具点検票										
名 称	貝塚市 山手地区公民館					防火管理者				
所 在	大阪府貝塚市東山7丁目10番1号					立 会 者				
点検種別	総合点検		点検年月日	2025年3月4日						
点 検 者			点 検 者 所属会社							
設 置 階	はしご:二階三箇所 滑り台:三階・二階									
設 置 場 所	はしご:和室・講座室1・視聴覚室 滑り台:屋外									
点 検 項 目						点 検 結 果		措 置 内 容		
						種 別 ・ 容 量 等 の 内 容 判 定 不 良 内 容				
機 器 点 検										
周囲の状況	設 置 場 所					○				
	操 作 面 積 な ど					○				
	開 口 部					○				
	降 下 空 間					○				
	避 難 空 間					○				
標 識					○					
器具本体	避難はしご	縦 棒				○				
		横 さ ん				○				
		突 子				○				
		結 合 部 等				○				
		可 動 部	外 形				○			
			機 能				○			
	緩降機	つ り 下 げ 金 具				○				
		調 速 機	外 形				/			
			機 能				/			
	ロープ	調 速 機 の 連 結 部				/				
		ロ ー プ				/				
		着 用 具				/				
		ロープと着用具の緊結部				/				
	すべり台	底 板 及 び 側 板				○				
		す べ り 面 の 勾 配				○				
手 す り					○					
避難フロア	す べ り 棒				/					
	ロープ	ロ ー プ 本 体				/				
		結 合 部				/				
	つ り 下 げ 金 具				/					

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第15

避難器具(その2)

器 具 本 体	避難 橋	床板・手すり等			/			
		接合部			/			
		可動部	外	形		/		
			機	能		/		
	避難 用タ ラップ	踏み板、手すり等			/			
		接合部			/			
		可動部	外	形		/		
			機	能		/		
	救 助 袋	本体布及び展張部材			/			
		縫い合せ部			/			
		保護装置(斜降式の救助袋に限る。)			/			
		結合部			/			
		可動部	外	形		/		
	機		能		/			
	取 付 具 ・ 支 持 部	取付具			/			
		可動部			/			
		支持部			/			
		固定環			/			
ハッチ		上蓋			/			
		下蓋			/			
		使用方法の表示			/			
格納状況	格納箱			○				
	格納状況			○				
総 合 点 検								
器 具 の 取 付 け 等					○			
降 下					○			
格 納					○			
備								
考								
測	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
定								
機								
器								

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

非常警報器具及び設備点検票									
名 称	貝塚市 山手地区公民館					防火管理者			
所 在	大阪府貝塚市東山7丁目10番1号					立 会 者			
点 検 種 別	総合点検		点検年月日	2025年3月4日					
点 検 者			点 検 者 所属会社						
点 設 備 名	操 作 部 ・ 複 合 装 置	製造者名	ビクター			増 幅 器	製造者名 ビクター		
		型式等	DM-E20CS				型式等		
点 検 項 目	点 検 結 果					措 置 内 容			
	種 別 ・ 容 量 等 の 内 容 判 定					不 良 内 容			
機 器 点 検									
（非 内 常 蔵 電 源 型）	外 形	Ni-cd	○						
	表 示	24V 1.65Ah 7.5Ah	○						
	端 子 電 圧	27 V	○						
	切 替 装 置	自動切換	○						
	充 電 装 置	トリクル充電	○						
結 線 接 続			○						
非 常 ベ ル ・ 自 動 式 サ イ レ ン	起 動 装 置	周 囲 の 状 況		○					
	操 作 部 ・ 複 合 装 置	外 形		○					
		表 示		○					
		機 能		○					
	自 動 式	外 形		○					
		表 示		○					
		電 圧 計	V	/					
		ス イ ッ チ 類		○					
		ヒ ュ ー ズ 類	A	○					
	サ イ レ ン	継 電 器		○					
		表 示 灯		○					
		結 線 接 続		○					
		接 地	D種接地工事	○					
		予 備 品 等	ヒューズ	○					
	ベル・サイレン	外 形		○					
取 付 状 態			○						
音 圧 等			○						
鳴 動 方 式		一斉 区分 相互 再鳴動	○						
表 示 灯		/							

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第14

非常警報器具及び設備(その2)

放 送 設 備	起 動 装 置	周 囲 の 状 況		○			
		外 形		○			
		押 し ボ タ ン 等		○			
		発 信 機 ・ 非 常 電 話		○			
		自 動 火 災 報 知 設 備 と の 連 動		○			
	増 幅 器	周 囲 の 状 況		○			
		外 形		○			
		表 示		○			
		電 圧 計	V	/			
		ス イ ッ チ 類		○			
		保 護 板		○			
		ヒ ュ ー ズ 類	A	○			
		継 電 器		○			
		計 器 類		○			
		表 示 灯		○			
		結 線 接 続		○			
		接 地	D種接地工事	○			
		回 路 選 択		○			
		2 以 上 の 操 作 部 等		○			
		遠 隔 操 作 器 の 連 動		○			
	設 等	非 常 用 放 送 切 替		○			
		回 路 短 絡		○			
		音 声 警 報 音		○			
		火 災 音 信 号		○			
		マ イ ク ロ ホ ン		○			
		予 備 品 等		○			
		ス ピー カー	外 形		○		
			取 付 状 態		○		
			音 圧 等		○		
			鳴 動 方 式	一斉 区分 相互 再鳴動	○		
	音 量 調 整 器			○			
	備 表	示 灯		○			
	警 ゴ ン グ ・ 等	周 囲 の 状 況		/			
外 形			/				
機 能			/				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

総 合 点 検								
音響装置・スピーカーの音圧		96 dB		○				
総 合 作 動				○				
備 考								
測 定 機 器	機器名	型 式	校 正 年 月 日	製造者名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名
	回路計	MCL-400IR		マルチ計測器				
	騒音計	MS8209		MASTEC H				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第26

配 線 点 検 票 (設 備 名 非常警報器具及び設備)							
名 称	貝塚市 山手地区公民館				防 火 管 理 者		
所 在	大阪府貝塚市東山7丁目10番1号				立 会 者		
点 検 種 別	総合点検	点検年月日	2025年3月4日				
点 検 者		点 検 者 所 属 会 社					
点 検 項 目	点 検 結 果					措 置 内 容	
	種 別 ・ 容 量 等 の 内 容 判 定 不 良 内 容						
総 合 点 検							
専 用 回 路	事務室分電盤			○			
開 閉 器 ・ 遮 断 機	20 A			○			
ヒ ュ ー ズ 類				/			
絶 縁 抵 抗	常用 20 MΩ 非常 - MΩ			○			
耐 熱 保 護				○			
備 考							
機 器 名 型 式 校正年月日 製 造 者 名	機 器 名 型 式 校正年月日 製 造 者 名						
絶縁抵抗計	2406D		YOKOGAWA				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

(その1)

防排煙設備点検票 1 (防火扉・シャッター・ダンパー・その他)					
名 称	貝塚市 山手地区公民館			防火管理者	
所 在	大阪府貝塚市東山7丁目10番1号			立会者	
点検種別	総合点検	点検年月日	2025/3/4		
点 検 者		点 検 者 所 属 会 社			
点 検 名	受信機	製造者名 松下 型式等			
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容
		種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容	
機 器 点 検					
予備電源・非常 (内蔵型)	外形	Ni-cd	○		
	表示		○		
	端子電圧	25V	○		
	切替装置	自動切換	○		
	充電装置	トリクル充電	○		
	結線状況		○		
連動制御盤	周囲の状況		○		
	外形		○		
	表示		○		
	警戒区域の表示装置		○		
	電圧計		交流電源灯	○	
	スイッチ類			○	
	フューズ類		1-10	○	
	継電器			○	
	表示灯			○	
	結線接続			○	
	接地		D種接地工事	○	
	附属装置			○	
	注意表示			○	
回路導通			○		
予備品等		ヒューズ等	○		
感 知 器	取付状態		○		
	温度ヒューズ等		○		
	外形		○		
	熱感知器		差動 定温(再) 熱アナログ	/	
防 火 扉	煙感知器		イオン 光電 アナログ	○	
	取付状態			○	
	外形			○	
	周囲の状況			○	
	作動状態			○	

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

防排煙設備(その2)

シャッター	取付状態			／				
	外形			／				
	周囲の状況			／				
	作動状態			／				
ダンパー	取付状態			／				
	外形			／				
	周囲の状況			／				
	作動状態			／				
その他	取付状態			／				
	外形			／				
	周囲の状況			／				
	作動状態			／				
連動機構				○				
総合点検								
連動状態				○				
総合作動				○				
配線抵抗点検備考	絶縁抵抗	電源回路	MΩ	○				
		感知器回路	MΩ	○				
		制御回路	MΩ	○				
		付属回路	MΩ	○				
	耐熱保護			○				
	専用回路			○				
	開閉器・遮断器			○				
考測								
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	加熱試験器	TS-201		大阪消防設備	回路計	MCL-400I		MASTEC H
	加熱試験器	TS-201		大阪消防設備	絶縁抵抗計	2406D		YOKOGAWA
	加熱試験器	FTGJ001-Z		能美防災				
	加熱試験器	HK-3		能美防災				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

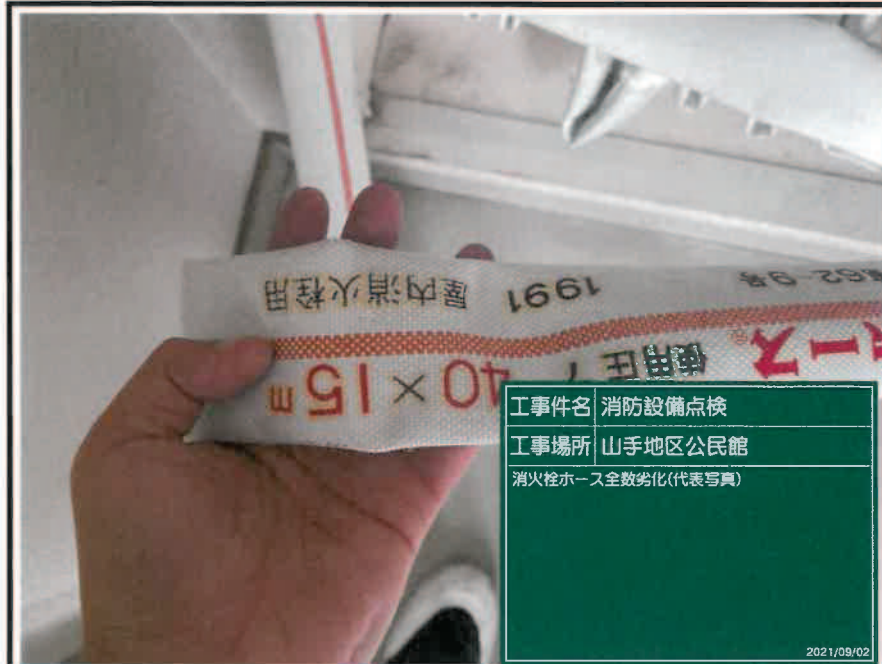
3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

制御区画		総合連動点												点検結果	特記事項			
番号	表示区画・名称	専用感知器				自動閉鎖装置				防火シャッター	防火扉	注意喚起表示						
		光電式スポット型感知器	イオン化式スポット型感知器	定温式スポット型感知器		防火シャッター	防火扉					音響装置	音声発生装置			標識	注意灯	
1	1階		○					○					○				○	
2																		
3																		
4																		
5																		
※特記																		

山手地区公民館



変わらず



和室横 発信機

球切れ

別記様式第1

消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書		
貝塚市消防長 殿		年 月 日
届出者		
住 所 貝塚市畠中1丁目17番1号		
氏 名 貝塚市長 酒井 了		
電話番号 072-431-0926		
下記のとおり消防用設備の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。 記		
防 所 在 地	大阪府貝塚市二色2-7-2	
火 名 称	貝塚市 浜手地区公民館	
対 用 途	1 項 口	
象 規 模	地上 2 階 地下 階	
物	延べ面積 991.55 m ²	
点 検 期 間	2025年3月27日	
消防用設備等の種類	・ 消火器具・自動火災報知設備・誘導灯誘導標識・非常放送設備	
※受 付 欄		※経 過 欄
		※備 考

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 点検者が複数の場合は、別紙に記入し、添付すること。
3 消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
4 ※印欄は、記入しないこと。

消防設備等(特殊消防設備等)点検結果総括表

名 称	貝塚市 浜手地区公民館		防火管理者		
所 在	大阪府貝塚市二色2-7-2		点検実施責任者		
点検種別	総合点検	点検年月日	2025年3月27日		
設 備 名	点 検 結 果		処 置 内 容	立 会 者	
	判 定	不 良 内 容			
消 火 器 具	(良)不良				
自 動 火 災 報 知 設 備	良(不良)	蓄電池不良			
誘 導 灯 及 び 誘 導 標 識	良(不良)	球切れ×3 蓄電池不良 ×1			
非常警報器具及び設備	(良)不良				
	良・不良				
	良・不良				

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第3

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表

点 検 者					設 備 名
住所					・消火器具・自動 火災報知設備・誘 導灯誘導標識・非 常放送設備
氏名		電話番号			
資格	消防設備士				
種 類 等	交付年月日	交付番号	交付知事	受講年月	
甲種 特類					
乙 1 類					
乙 2 類					
乙 3 類					
甲 4 類					
乙 5 類					
乙 6 類					
乙 7 類					
備考					
種 類 等	交付年月日	交付番号	有効期限		
特 種					
第 1 種					
第 2 種					
点 検 者					設 備 名
住所					・消火器具・自動 火災報知設備・誘 導灯誘導標識・非 常放送設備
氏名		電話番号			
資格	消防設備士				
種 類 等	交付年月日	交付番号	交付知事	受講年月	
甲種 特類					
甲・乙 1 類					
甲・乙 2 類					
甲・乙 3 類					
甲・乙 4 類					
甲・乙 5 類					
甲・乙 6 類					
甲・乙 7 類					
備考					
種 類 等	交付年月日	交付番号	有効期限		
特 種					
第 1 種					
第 2 種					

備考 1. この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 住所、電話番号の欄は、点検者が法人に属する場合は、所属会社の住所、電話番号を記入すること。

3 資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の区分、種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習（再講習）受講年月日を記載すること。

4 誘導灯及び誘導標識の点検を実施した者は、備考欄に電気工事士法（昭和35年法律第139号）第3条に規定する電気工事士免状又は電気事業法（昭和39年法律第170号）第44条第1項に規定する第一種電気主任技術者免状、第二種電気主任技術者免状若しくは第三種電気主任技術者免状のいずれかの免状の種類、交付番号及び交付年月日を記載すること。（第二種消防設備点検資格者の免状の交付を受けている者を除く。）

消 火 器 具 点 検 票										
名 称	貝塚市 浜手地区公民館						防火管理者			
所 在	大阪府貝塚市二色2-7-2						立 会 者			
点検種別	総合点検		点検年月日		2025年3月27日					
点検者	氏名		点 検 者 所属会社							
点 検 項 目			点 検 結 果						措 置 内 容	
			消 火 器 の 種 別							判 定 不 良 内 容
			A	B	C	D	E	F		
機 器 点 検										
設 置 状 況	設 置 場 所	○	—	○	○	—	／	○		
	設 置 間 隔	○	—	○	○	—	／	○		
	適 応 性	○	—	○	○	—	／	○		
	耐 震 措 置	／	—	／	／	—	／	／		
表 示 ・ 標 識		○	—	○	○	—	／	○		
消 火 器 の 外 形	本 体 容 器	○	—	○	○	—	／	○		
	安 全 栓 の 封	○	—	○	○	—	／	○		
	安 全 栓	○	—	○	○	—	／	○		
	使用済みの表示装置	○	—	○	○	—	／	○		
	押し金具・レバー等	○	—	○	○	—	／	○		
	キ ャ ッ プ	○	—	○	○	—	／	○		
	ホ ー ス	○	—	○	○	—	／	○		
	ノズル・ホーン・ノズル栓	○	—	○	○	—	／	○		
	指 示 圧 力 計	○	—	○	／	—	／	○		
	圧 力 調 整 器	／	—	／	／	—	／	／		
安 全 弁	安 全 弁	○	—	／	／	—	／	○		
	保 持 装 置	／	—	／	／	—	—	／		
	車 輪 (車 載 式)	／	—	／	／	—	—	／		
	ガス導入管(車載式)	／	—	／	／	—	—	／		

1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器

Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄に内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消 火 器 内 部 機 能	本・ 体内 容筒 器等 消薬 火剤	本 体 容 器	/	—	/	/	—	/	/		
		内 筒 等	/	—	/	/	—	/	/		
		液 面 表 示	/	—	/	/	—	/	/		
		性 状	/	—	/	/	—	/	/		
		消 火 薬 剤 量	/	—	/	/	—	/	/		
	加 圧 用 ガ ス 容 器	カッター・押し金具	/	—	/	/	—	/	/		
		ホ ー ス	/	—	/	/	—	/	/		
		開閉式ノズル・切替式ノズ	/	—	/	/	—	/	/		
		指 示 圧 力 計	/	—	/	/	—	/	/		
		使用済みの表示装置	/	—	/	/	—	/	/		
		圧 力 調 整 器	/	—	/	/	—	/	/		
		安全弁・減圧孔・排圧栓	/	—	/	/	—	/	/		
		粉 上 り 防 止 用 封 板	/	—	/	/	—	/	/		
		パ ッ キ ン	/	—	/	/	—	/	/		
		サイホン管・ガス導入管	/	—	/	/	—	/	/		
ろ 過 網	/	—	/	/	—	/	/				
	放 射 能 力	/	—	/	/	—	/	/			
消 火 器 の 耐 圧 性 能		/	—	/	/	—	/	/			
簡 易 消 火 具	外 形	/	/	/	/	/	/	/			
	水 量 等	/	/	/	/	/	/	/			
備 考											
測 定 機 器	機 器 名 型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名 型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名					
	バネばかり	MD44S-876									
	キャップスパナ										
型式		設置数	点 検 数	合 格 数	要 修 理 数	廃 棄 数					
PEP-10N		7	7	7	0						
CG-7		1	1	1	0						
NLSE-3S		3	3	3	0						

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器
Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消火器一覧表

貝塚市 浜手地区公民館

令和7年3月27日

記番	設置場所	種別	型式	製造者	年式	製造番号	備考	判定
1	1F事務所前	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2019	134834		○
2	1Fグループロockerルーム前	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2019	134846		○
3	1Fホール南	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2019	134893		○
4	1階事務所	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2019	134888		○
5	2F料理室前	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2019	134694		○
6	1Fホール内	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2019	134698		○
7	2F和室前	粉末 蓄圧式	PEP-10N	ハツタ	2019	134889		○
8	2F料理室	強化液	NLSE-3S	ハツタ	2019	1988		○
9	2F湯沸室	強化液	NLSE-3S	ハツタ	2019	1790		○
10	2F階段前	強化液	NLSE-3S	ハツタ	2019	1978		○
11	キュービクル前	CO2	CG-7	ハツタ	2019	890		○

自動火災報知設備点検票 1						
名称	貝塚市 浜手地区公民館			防火管理者		
所在	大阪府貝塚市二色2-7-2			立 会 者		
点検種別	総合点検		点検年月日	2025年3月27日		
点検者			点 検 者 所 属 会 社			
点検設備名	受	信	機	製造者名 ナショナル1997年		
				型 式 等 受第8~3号 BVJ2105		
点 検 項 目	点 検 結 果			措 置 内 容		
	種別・容量等の内容判定不良内容					
機 器 点 検						
予備電源・非常電 源（内蔵型）	外 形	Ni-cd		○		
	表 示	24V 0.29Ah		○		
	※ 端子電圧	2 V		×		
	※ 切替装置	自動切替		○		
	※ 充電装置	トリクル充電		○		
	※ 結線接続			○		
受信機	周囲の状況	1F事務所内		○		
	外 形	P-2		○		
	表 示	火災受信所		○		
	警戒区域の表示装置	4/5 回線		○		
	電 圧 計	V		/		
	スイッチ類	レバー式		○		
	ヒューズ類	0.5-2 A		○		
	※ 継電器			○		
	表 示 灯			○		
	通 話 装 置			○		
	※ 結線接続			○		
	接 地	D種接地工事		○		
中継器	附属装置	警備会社移報		○		
	※ 火災表示等	蓄積式		○		
		アナログ式		/		
		二信号式		/		
		その他		/		
	※ 注意表示			○		
	回路導通			○		
	設定表示温度等			/		
感知器作動等の表示			/			
器	予 備 品 等	ヒューズ等		○		

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 - 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

感 知 器 器 信 機 音 響 装 置	外	形		○		
	警	未 警 戒 部 分		○		
	戒	感 知 区 域		○		
	状	適 応 性		○		
	況	機 能 障 害		○		
	※	ス ポ ッ ト 型	(差動) (定温(再)) 熱アナログ	○		
	熱 感 知 器	分布型	空 気 管 式	/		
			熱電対式・熱半 導 体 式	/		
		感 知 線 型	/			
	※ 連 感 知 器	ス ポ ッ ト 型	(イオン) (光電) アナログ	○		
		分 離 型	/			
	※	炎 感 知 器	赤外線 紫外線	/		
	※	多信号感知器・複合式感 知 器	/			
	※	遠隔試験機能を有する感 知 器	/			
	発	周 囲 の 状 況	○			
信	外	形	P-2	○		
	表	示	AC24V	○		
	押しボタン・送受話器	DC24V	○			
	表 示 灯	○				
機 音 響 装 置	外	形	○			
	取 付 状 態	○				
	音 圧 等	db	○			
	鳴 動 方 式	(一斉) 区分 相互 (再鳴動)	○			
※	蓄 積 機 能	○				
※	二 信 号 機 能	/				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付する

7 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

別記様式第11

自動火災報知設備(その3)

自 動 試 験 機 能	予 備 電 源 ・ 非 常 電 源		○					
	受 信 機 の 火 災 表 示		○					
	受 信 機 の 注 意 表 示		○					
	受信機・中継器の制御機能・電路		○					
	感 知 器		○					
	感知器回路・ベル回路		○					
総 合 点 検								
	同 時 作 動		○					
	※煙感知器等の感度 (自動試験機能を有するものを除く。)		/					
	地 区 音 響 装 置 の 音 圧	94 dB	○					
	※総合作動 (自動試験機能を有するものを除く。)		○					
備	蓄電池不良 古河電池 型式:受信機用 0.225Ah/5HR 定格電圧:24V 許容放電電流:0.675A 社内形式:20-S201A							
考 測								
定 機 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名
	加熱試験器	TS-201		大阪消防 設備	回 路 計	MCL- 400IR		マルチ計測器
	加煙試験器	TS-201		大阪消防 設備	騒 音 計	MS8209		MASTECH
	加煙試験器	FTGJ00 1-Z		能美防災				
	加熱試験器	HK-3		能美防災				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書
- 7 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不能。

別記様式第26

配線点検票（設備名 自動火災報知設備）							
名 称	貝塚市 浜手地区公民館				防 火 管 理 者		
所 在	大阪府貝塚市二色2-7-2				立 会 者		
点検種別	総合点検	点検年月日	2025年3月27日				
点 検 者		点 検 者 所 属 会 社					
点 検 項 目	点 検 結 果				措 置 内 容		
	種 別 ・ 容 量 等 の 内 容				判 定	不 良 内 容	
総 合 点 検							
専 用 回 路	事務室分電盤			○			
開 閉 器 ・ 遮 断 機	NFB 20 A			○			
ヒ ュ ー ズ 類				/			
絶 縁 抵 抗	常用 200 MΩ 非常 ー MΩ			○			
耐 熱 保 護				○			
備 考							
測 定 機 器	機 器 名 型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名 型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	
	絶縁抵抗計	2406D		YOKOGAWA			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第16

誘導灯及び誘導標識点検票										
名 称	貝塚市 浜手地区公民館					防火管理者				
所 在	大阪府貝塚市二色2-7-2					立会者				
点検種別	総合点検		点検年月日	2025年3月27日						
点 検 者	氏名			点検者 所属会社						
点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容			
			種別・容量等の内容			判 定				不 良 内 容
			避難口	通路	客席					
機 器 点 検										
誘 導 灯	外箱・表示面	種 類	○	○	—	○				
		視認障害等	○	○	—	○				
		外 形	○	○	—	○				
		表 示	3	○	—	×	球切れ			
	非 常 電 源 (内 蔵 型)	外 形	○	○	—	○				
		表 示	○	○	—	○				
		機 能	1	○	—	×	蓄電池不良			
	光 源		○	○	—	○				
	点 検 ス イ ッ チ		○	○	—	○				
	ヒ ュ ー ズ 類		○	○	—	○				
	結 線 接 続		○	○	—	○				
	信 号 装 置 等	外 形	/	/	/	/				
結 線 接 続		/	/	/	/					
機 能		/	/	/	/					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

誘 導 標 識	外	形	/	/	—	/																					
	視	認	障	害	等	/	/	—	/																		
	採	光	又	は	照	明	/	/	—	/																	
	※	表	示	面	の	輝	度	/	/	—	/																
	※	※	設	置	場	所	の	照	度	/	/	—	/														
	※	※	ヒ	ュ	ー	ズ	類	/	/	—	/																
	※	※	結	線	接	続	/	/	—	/																	
	※※※非常電源	外	形	/	/	—	/																				
		表	示	/	/	—	/																				
機		能	/	/	—	/																					
備考	一部(LEDでないもの)本体古くなっていますので、本体の交換推奨致します。 ※玄関誘導灯の蓄電池は古いタイプなので後継品はありませんでした。(SANYO 1988年製)																										
測 定 機 器	機	器	名	型	式	校	正	年	月	製	造	者	名	機	器	名	型	式	校	正	年	月	日	製	造	者	名
	回路計		MCL-400IR							マルチ計測器																	

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 票中※印のあるものは、消防法施行規則第28条の2第1項第3号ハ、規則第28条の3第4項第3号の2、第10号に規定する蓄光式誘導標識、「誘導灯及び誘導標識の基準」(平成11年消防庁告示第2号)第五第三号(四)に規定する高輝度蓄光式誘導標識に限る。

7 票中※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識に限る。

8 票中※※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識のうち、内蔵型の電源を有するものに限る。

誘導灯一覧表

名称 貝塚市 浜手地区公民館

2025年3月27日

場所	片面	両面	直付	埋込	球	蓄電池型番	内容	備考
1F 玄関	○				×		球切れ、蓄電池不良	機器交換推奨
1F ホール(授乳室横)	○						非常口用	
1F 廊下(裏口)	○							
1F プレイルーム	○							LED
1F プレイルーム非常口	○							
1F 第1講座室	○							LED
1F 第2講座室	○							LED
1F トイレ前			○				通路用	LED
1F ホール(図書室横)	○							
1F 階段踊場			○				通路用	LED
1F ホール(受付け正面)		○					通路用	LED
2F 和室入口	○				×		球切れ	機器交換推奨
2F 和室西	○				×		球切れ	機器交換推奨
2F 和室東	○							LED
2F ホール東	○							LED
2F ホール西	○							
2F ホール側面	○							
2F 料理室北	○							LED
2F 料理室南	○							
2F 廊下				○			通路用	LED
2F 非常口	○							
2F 階段	○							LED

別記様式第26

配線点検票（設備名 誘導灯及び誘導標識）							
名 称	貝塚市 浜手地区公民館				防 火 管 理 者		
所 在	大阪府貝塚市二色2-7-2				立 会 者		
点検種別	総合点検	点検年月日	2025年3月27日				
点 検 者	氏名	点 検 者 所 属 会 社					
点 検 項 目	点 検 結 果				措 置 内 容		
	種 別 ・ 容 量 等 の 内 容 判 定 不 良 内 容						
総 合 点 検							
専 用 回 路	事務室分電盤			○			
開 閉 器 ・ 遮 断 機	A			○			
ヒ ュ ー ズ 類				/			
絶 縁 抵 抗	常用 200 MΩ 非常 — MΩ			○			
耐 熱 保 護				/			
備 考							
測 定							
機 器							
器							
機 器 名 型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名 型 式	校正年月日	製造者名		
絶縁抵抗計	2406D	YOKOGAWA					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

非常警報器具及び設備点検票									
名 称	貝塚市 浜手地区公民館					防火管理者			
所 在	大阪府貝塚市二色2-7-2					立 会 者			
点 検 種 別	総合点検		点検年月日	2025年3月27日					
点 検 者			点 検 者 所属会社						
点 設 備 名	操作部・ 複合装置	製造者名 型式等	沖電気防災 鑑認非第13～2号			増幅器	製造者名 型式等		
点 検 項 目	点 検 結 果					措 置 内 容			
	種別・容量等の内容判定					不良内容			
機 器 点 検									
非 内 常 蔵 電 源	外 形	Ni-cd		○					
	表 示	24V 1.65Ah/5HR		○					
	端 子 電 圧	28 V		○					
	切 替 装 置	自動切換		○					
	充 電 装 置	トリクル充電		○					
結 線 接 続			○						
非 常 ベ ル ・ 自 動 式 サ イ レ ン	起 動 装 置	周囲の状況		/					
	操 作 部	外 形		/					
		表 示		/					
		機 能		/					
	複 合 装 置	外 形		○					
		表 示		○					
		電 圧 計	30 V	○					
		ス イ ッ チ 類		○					
	ベル・サイレン	ヒ ュ ー ズ 類	1-8 A	○					
		継 電 器		○					
		表 示 灯		○					
		結 線 接 続		○					
	接 地	D種接地工事		○					
		予 備 品 等	ヒューズ類		○				
		外 形		○					
取 付 状 態			○						
音 圧 等			○						
鳴 動 方 式	(一斉) 区分 相互 再鳴動		○						
表 示 灯			○						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第14

非常警報器具及び設備(その2)

放 送 設 備	起 動 装 置	周 囲 の 状 況		○			
		外 形		○			
		押 し ボ タ ン 等		○			
		発 信 機 ・ 非 常 電 話		○			
		自 動 火 災 報 知 設 備 と の 連 動		/			
	増 幅 器 等	周 囲 の 状 況		○			
		外 形		○			
		表 示		○			
		電 圧 計	32 V	○			
		ス イ ッ チ 類		○			
		保 護 板		○			
		ヒ ュ ー ズ 類	A	○			
		継 電 器		○			
		計 器 類		○			
		表 示 灯		○			
		結 線 接 続		○			
		接 地	D種接地工事	○			
		回 路 選 択		○			
		2 以 上 の 操 作 部 等		/			
		遠 隔 操 作 器 の 連 動		/			
		非 常 用 放 送 切 替		○			
		回 路 短 絡		○			
		音 声 警 報 音		○			
		火 災 音 信 号		○			
		マ イ ク ロ ホ ン		○			
		予 備 品 等		○			
		ス ピー カー	外 形		○		
			取 付 状 態		○		
	音 圧 等			○			
	鳴 動 方 式		(一斉) 区分 相互 (再鳴動)	○			
	音 量 調 整 器			○			
	備 表	示 灯		○			
警 鐘 ・ 等	周 囲 の 状 況		○				
	外 形		○				
	機 能		○				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

総 合 点 検								
音響装置・スピーカーの音圧		96	dB	○				
総 合 作 動				○				
測 定 機 器	機器名	型 式	校正年月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校正年月 日	製 造 者 名
	回路計	MCL-400IR		マルチ計測器				
	騒音計	MS8209		MASTEC H				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

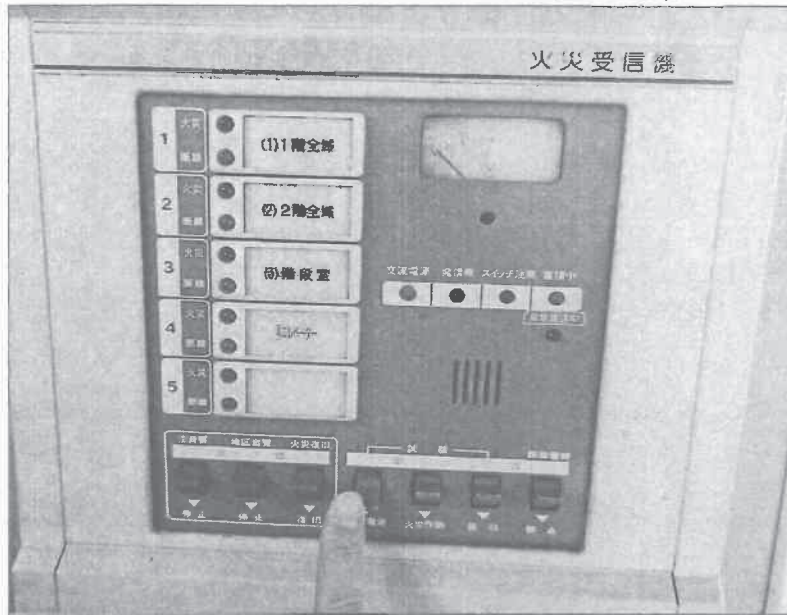
5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第26

配線点検票（設備名 非常警報器具及び設備）								
名 称	貝塚市 浜手地区公民館					防 火 管 理 者		
所 在	大阪府貝塚市二色2-7-2					立 会 者		
点検種別	総合点検	点検年月日	2025年3月27日					
点 検 者		点 検 者 所 属 会 社						
点 検 項 目	点 検 結 果					措 置 内 容		
	種 別 ・ 容 量 等 の 内 容					判 定	不 良 内 容	
総 合 点 検								
専 用 回 路	事務室分電盤				○			
開 閉 器 ・ 遮 断 機	A				○			
ヒ ュ ー ズ 類					/			
絶 縁 抵 抗	常用 200 MΩ 非常 - MΩ				○			
耐 熱 保 護					○			
備 考								
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名
	絶縁抵抗計	2406D		YOKOGAWA				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

浜手地区公民館



蓄電池不良

変わらず



和室入り口
球切れ



和室西
球切れ



別記様式第1

消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書

令和 7 年 4 月 23 日

貝塚市消防長 殿

届出者 〒597-0023 大阪府貝塚市福田 91 番地
(電話)072-432-5959(FAX)433-4602
貝塚市立 青少年人権教育交流館
住 所 (愛称)ハート交流館
氏 名 [REDACTED]
電話番号 [REDACTED]

下記のとおり消防用設備の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。
記

防 火 対 象 物	所 在 地	大阪府貝塚市福田91	
	名 称	貝塚市立 青少年人権教育交流館	
	用 途	第1項 (ロ)集会所、	
	規 模	地上 13 階 地下 1 階 延べ面積 1637.44 m ²	
点 検 期 間		2025年3月14日	
消 防 用 設 備 等 の 種 類		・消火器具・誘導灯・誘導標識・自動火災報知設備・屋内消火栓設備・非常放送設備・防排煙設備・非常電源(自家発電設備)	
		※備 考	
		消防法の規定に基づき、良箇所を早急に改修すること 改修予定有を確認済	

備考 1

- 2 点検者が複数の場合は、別紙に記入し、添付すること。
3 消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
4 ※印欄は、記入しないこと。



消防設備等(特殊消防設備等)点検結果総括表

名 称	貝塚市立 青少年人権教育交流館			防火管理者	
所 在	大阪府貝塚市福田91			点検実施責任者	
点検種別	総合点検	点検年月日	2025年3月14日		
設 備 名	点 検 結 果		処 置 内 容	立 会 者	
	判 定	不 良 内 容			
消 火 器 具	(良)不良				
誘 導 灯 及 び 誘 導 標 識	良(不良)	蓄電池不良×1			
自 動 火 災 報 知 設 備	(良)不良				
屋 内 消 火 栓 設 備	(良)不良				
非常警報器具及び設備	(良)不良				
防 排 煙 設 備	(良)不良				

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消防設備等(特殊消防設備等)点検結果総括表

設 備 名	点 検 結 果		処 置 内 容	立 会 者
	判 定	不 良 内 容		
非常電源(自家発電設備)	○ 良 ・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第3

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表

点 検 者					設 備 名
住所					・消火器具・誘導灯誘導標識・自動火災報知設備・屋内消火栓設備・非常放送設備・防排煙設備・非常電源（自家発電設備）
氏名					
資格	消防設備士				
種 類 等	交付年月日	交付番号	交付知事	受講年月	
甲種 特類					
甲・乙 1類					
甲・乙 2類					
甲・乙 3類					
甲 4類					
甲・乙 5類					
甲・乙 6類					
甲・乙 7類					
備考					
種 類 等	交付年月日	交付番号	有効期限		
特 種					
第 1 種					
第 2 種					

点 検 者					設 備 名
住所					・消火器具・誘導灯誘導標識・自動火災報知設備・屋内消火栓設備・非常放送設備・防排煙設備・非常電源（自家発電設備）
氏名					
資格	消防設備士				
種 類 等	交付年月日	交付番号	交付知事	受講年月	
甲種 特類					
甲・乙 1類					
甲・乙 2類					
甲・乙 3類					
甲・乙 4類					
甲・乙 5類					
甲・乙 6類					
甲・乙 7類					
備考					
種 類 等	交付年月日	交付番号	有効期限		
特 種					
第 1 種					
第 2 種					

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 住所、電話番号の欄は、点検者が法人に属する場合は、所属会社の住所、電話番号を記入すること。
 - 資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の区分、種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習（再講習）受講年月日を記載すること。
 - 誘導灯及び誘導標識の点検を実施した者は、備考欄に電気工事士法(昭和35年法律第139号)第3条に規定する電気工事士免状又は電気事業法(昭和39年法律第170号)第44条第1項に規定する第一種電気主任技術者免状、第二種電気主任技術者免状若しくは第三種電気主任技術者免状のいずれかの免状の種類、交付番号及び交付年月日を記載すること。（第二種消防設備点検資格者の免状の交付を受けている者を除く。）

別記様式第3

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表

点 検 者					設 備 名
住所					・消火器具・誘導灯誘導標識・自動火災報知設備・屋内消火栓設備・非常放送設備・防排煙設備・非常電源（自家発電設備）
氏名					
資格	消防設備士				
種 類 等	交付年月日	交付番号	交付知事	受講年月	
甲種 特類					
乙 1 類					
乙 2 類					
乙 3 類					
甲 4 類					
乙 5 類					
乙 6 類					
乙 7 類					
備考					
種 類 等	交付年月日	交付番号	有効期限		
特 種					
第 1 種					
第 2 種					
点 検 者					設 備 名
住所					・消火器具・誘導灯誘導標識・自動火災報知設備・屋内消火栓設備・非常放送設備・防排煙設備・非常電源（自家発電設備）
氏名					
資格	消防設備士				
種 類 等	交付年月日	交付番号	交付知事	受講年月	
甲種 特類					
甲・乙 1 類					
甲・乙 2 類					
甲・乙 3 類					
甲・ 4 類					
甲・乙 5 類					
甲・乙 6 類					
甲・乙 7 類					
備考					
種 類 等	交付年月日	交付番号	有効期限		
特 種					
第 1 種					
第 2 種					

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 住所、電話番号の欄は、点検者が法人に属する場合は、所属会社の住所、電話番号を記入すること。
 - 資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の区分、種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習（再講習）受講年月日を記載すること。
 - 誘導灯及び誘導標識の点検を実施した者は、備考欄に電気工事士法（昭和35年法律第139号）第3条に規定する電気工事士免状又は電気事業法（昭和39年法律第170号）第44条第1項に規定する第一種電気主任技術者免状、第二種電気主任技術者免状若しくは第三種電気主任技術者免状のいずれかの免状の種類、交付番号及び交付年月日を記載すること。（第二種消防設備点検資格者の免状の交付を受けている者を除く。）

消 火 器 具 点 検 票												
名 称		貝塚市立 青少年人権教育交流館						防火管理者				
所 在		大阪府貝塚市福田91						立 会 者				
点検種別		総合点検		点検年月日		2025年3月14日						
点検者				点 検 者 所 属 会 社								
点 検 項 目		点 検 結 果							措 置 内 容			
		消 火 器 の 種 別						判 定				不 良 内 容
		A	B	C	D	E	F					
機 器 点 検												
設 置 状 況	設 置 場 所	○	—	/	/	—	/	○				
	設 置 間 隔	○	—	/	/	—	/	○				
	適 応 性	○	—	/	/	—	/	○				
	耐 震 措 置	/	—	/	/	—	/	/				
表 示 ・ 標 識		○	—	/	/	—	/	○				
消 火 器 の 外 形	本 体 容 器	○	—	/	/	—	/	○				
	安 全 栓 の 封	○	—	/	/	—	/	○				
	安 全 栓	○	—	/	/	—	/	○				
	使用済みの表示装置	○	—	/	/	—	/	○				
	押し金具・レバー等	○	—	/	/	—	/	○				
	キ ャ ッ プ	○	—	/	/	—	/	○				
	ホ ー ス	○	—	/	/	—	/	○				
	ノズル・ホーン・ノズル栓	○	—	/	/	—	/	○				
	指 示 圧 力 計	○	—	/	/	—	/	○				
	圧 力 調 整 器	/	—	/	/	—	/	/				
安 全 弁	○	—	/	/	—	/	○					
保 持 装 置	/	—	/	/	—	—	/					
車 輪 (車 載 式)	/	—	/	/	—	—	/					
形	ガス導入管(車載式)	/	—	/	/	—	—	/				

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器
Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄に内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消 火 器 内 部 機 能	本・体内 内容筒 器等 消薬 火剤	本体容器	/	—	/	/	—	/	/		
		内筒等	/	—	/	/	—	/	/		
		液面表示	/	—	/	/	—	/	/		
		性状	/	—	/	/	—	/	/		
	消火薬剤量	/	—	/	/	—	/	/			
	加圧用ガス容器	/	—	/	/	—	/	/			
	カッター・押し金具	/	—	/	/	—	/	/			
	ホース	/	—	/	/	—	/	/			
	開閉式ノズル・切替式ノズル	/	—	/	/	—	/	/			
	指示圧力計	/	—	/	/	—	/	/			
	使用済みの表示装置	/	—	/	/	—	/	/			
	圧力調整器	/	—	/	/	—	/	/			
	安全弁・減圧孔・排圧栓	/	—	/	/	—	/	/			
	粉上り防止用封板	/	—	/	/	—	/	/			
	機 能	パッキン	/	—	/	/	—	/	/		
		サイホン管・ガス導入管	/	—	/	/	—	/	/		
ろ過網		/	—	/	/	—	/	/			
放射能力	/	—	/	/	—	/	/				
消火器の耐圧性能	/	—	/	/	—	/	/				
簡 易 消 火 具	外形	/	/	/	/	/	/	/			
	水量等	/	/	/	/	/	/	/			
備 考											
測 定 機 器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名			
	パネばかり	MD44S-876									
	キャップスパナ										
型式		設置数	点検数	合格数	要修理数	廃棄数					
粉末ABC10型		16	16	16	0						
粉末ABC20型											
強化液BC3型											

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。
- 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消火器一覧表

貝塚市立 青少年人権教育交流館

2025年3月14日

記番	設置場所	種別	型式	製造者	年式	製造番号	備考	判定
／	BF機械室	蓄圧 粉末	FM3000NX	ヤマト	2017	65059		○
／	BF機械室	蓄圧 粉末	FM3000NX	ヤマト	2017	65060		○
／	BFキュービクル	蓄圧 粉末	FM3000NX	ヤマト	2017	65067		○
／	1F事務所	蓄圧 粉末	FM3000NX	ヤマト	2017	65076		○
／	1F玄関	蓄圧 粉末	FM3000NX	ヤマト	2017	65070		○
／	1F湯沸室	蓄圧 粉末	FM3000NX	ヤマト	2017	65062		○
／	1F玄関	蓄圧 粉末	FM3000NX	ヤマト	2017	65069		○
／	1F玄関	蓄圧 粉末	FM3000NX	ヤマト	2017	65068		○
／	1F印刷室	蓄圧 粉末	FM3000NX	ヤマト	2017	65075		○
／	2F調理室	蓄圧 粉末	FM3000NX	ヤマト	2017	65063		○
／	2F調理室	蓄圧 粉末	FM3000NX	ヤマト	2017	65064		○
／	2F非常口前	蓄圧 粉末	FM3000NX	ヤマト	2017	65054		○
／	3Fトイレ前	蓄圧 粉末	FM3000NX	ヤマト	2017	65066		○
／	3Fトイレ前	蓄圧 粉末	MEA10	モリタ	2016	376714K		○
／	1F事務所	蓄圧 粉末	FM3000NX	ヤマト	2022	654567		○
／	4F廊下	蓄圧 粉末	FM3000NX	ヤマト	2017	65061		○

別記様式第16

誘 導 灯 及 び 誘 導 標 識 点 検 票									
名 称	貝塚市立 青少年人権教育交流館					防火管理者			
所 在	大阪府貝塚市福田91					立会者			
点 検 種 別	総合点検		点検年月日	2025年3月14日					
点 検 者			点検者 所属会社						
点 検 項 目			点 検 結 果					措 置 内 容	
			種 別・容量等の内容			判 定	不 良 内 容		
			避 難 口 通 路 客 席						
機 器 点 検									
誘 導 灯	外箱・表示面	種 類	○	○	—	○			
		視認障害等	○	○	—	○			
		外 形	○	○	—	○			
		表 示	○	○	—	○			
	非 常 電 源 (内 蔵 型)	外 形	○	○	—	○			
		表 示	○	○	—	○			
		機 能	2	○	—	○	蓄電池不良		
	光 源		○	○	—	○			
	点 検 ス イ ッ チ		○	○	—	○			
	ヒ ュ ー ズ 類		○	○	—	○			
	結 線 接 続		○	○	—	○			
	信 号 装 置 等	外 形	/	/	/	/			
結 線 接 続		/	/	/	/				
機 能		/	/	/	/				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

誘導標識	外 形	／	／	—	／			
	視 認 障 害 等	／	／	—	／			
	採 光 又 は 照 明	／	／	—	／			
	※ 表 示 面 の 輝 度	／	／	—	／			
	※※ 設 置 場 所 の 照 度	／	／	—	／			
	※※ ヒ ュ ー ズ 類	／	／	—	／			
	※※ 結 線 接 続	／	／	—	／			
	※※※非常電源	外 形	／	／	—	／		
		表 示	／	／	—	／		
機 能		／	／	—	／			
備考	誘導灯一覧参照 本体古くなっていますので、機器交換推奨 ※2027年から蛍光灯の製造および輸入が禁止になります。LEDタイプへの交換をおすすめいたします。							
測定機器	機 器 名 型 式	校正年月	製造者名	機 器 名 型 式	校正年月日	製造者名		
定機	回路計	MCL-400IR		マルチ計測器				
器								

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 票中※印のあるものは、消防法施行規則第28条の2第1項第3号ハ、規則第28条の3第4項第3号の2、第10号に規定する蓄光式誘導標識、「誘導灯及び誘導標識の基準」(平成11年消防庁告示第2号)第五第三号(四)に規定する高輝度蓄光式誘導標識に限る。

7 票中※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識に限る。

8 票中※※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識のうち、内蔵型の電源を有するものに限る。

誘導灯一覧表

名称 貝塚市立 青少年人権教育交流館

2025/3/14

場所	片面	両面	直付	埋込	球	蓄電池型番	内容	備考
BF 機械室	○							
1F 玄関	○							
1F 廊下		○					蓄電池不良	
1F 大会議室外	○							
1F 大会議室内	○							
1F 器具庫前		○					通路用	
2F 階段		○						
2F 講座室1前			○				通路用	
2F 非常口	○						蓄電池不良	
3F 体育館東	○							
3F 体育館西	○							
3F 体育館北	—						※避難先階段劣化のため不使用	
3F 体育館入口	○							
3F 階段	○							

別記様式第26

配 線 点 検 票 (設 備 名 誘導灯及び誘導標識)									
名 称	貝塚市立 青少年人権教育交流館					防 火 管 理 者			
所 在	大阪府貝塚市福田91					立 会 者			
点 検 種 別	総合点検		点検年月日	2025年3月14日					
点 検 者			点 検 者 所 属 会 社						
点 検 項 目			点 検 結 果					措 置 内 容	
			種 別 ・ 容 量 等 の 内 容 判 定 不 良 内 容						
総 合 点 検									
専 用 回 路	各階廊下分電盤			○					
開 閉 器 ・ 遮 断 機	20 A			○					
ヒ ュ ー ズ 類				/					
絶 縁 抵 抗	常用 200 MΩ 非常 MΩ			○					
耐 熱 保 護				/					
備 考									
測 定 機 器	機 器 名 型 式	校正年月日	製 造 者 名	機 器 名 型 式	校正年月日	製 造 者 名			
	絶縁抵抗計	2406D		YOKOGAWA					

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

自動火災報知設備点検票						
名称	貝塚市立 青少年人権教育交流館			防火管理者		
所在	大阪府貝塚市福田91			立 会 者		
点検種別	総合点検		点検年月日	2025年3月14日		
点検者			点 検 者 所 属 会 社			
点検設備名	受 信 機		製造者名	ナショナル1997年		
			型式等	受第8～3号 BVJ2105		
点 検 項 目	点 検 結 果		措 置 内 容			
	種別・容量等の内容		判定	不良内容		
機 器 点 検						
予備電源・非常電	外 形	Ni-cd	○			
	表 示	24V 0.45A	○			
	※ 端 子 電 圧	V	○			
	※ 切 替 装 置	自動切替	○			
	※ 充 電 装 置	トリクル充電	○			
	※ 結 線 接 続		○			
受信機	周 囲 の 状 況	1F事務所内	○			
	外 形	P-1	○			
	表 示	火災受信所	○			
	警 戒 区 域 の 表 示 装 置	7/20 回線	○			
	電 圧 計	V	/			
	ス イ ッ チ 類	レバー式	○			
	ヒ ュ ー ズ 類	A	○			
	※ 継 電 器		○			
	表 示 灯		○			
	通 話 装 置		○			
	※ 結 線 接 続		○			
	接 地	D種接地工事	○			
中継器	附 属 装 置		/			
	※ 火 災 表 示 等	蓄 積 式	○			
		アナログ式	/			
		二 信 号 式	/			
		そ の 他	/			
	※ 注 意 表 示		○			
	回 路 導 通		○			
	設 定 表 示 温 度 等		/			
感 知 器 作 動 等 の 表 示		/				
器 予 備 品 等	ヒューズ等	○				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
6 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

感 知 器 器 信 機 音 響 装 置	外	形		○			
	警 戒 状 況	未 警 戒 部 分		○			
		感 知 区 域		○			
		適 応 性		○			
		機 能 障 害		○			
	※	ス ポ ッ ト 型	差動 定温(再) 熱アナログ	○			
	熱 感 知 器	分 布 型	空 気 管 式	○			
			熱電対式・熱半 導 体 式	/			
		感 知 線 型	/				
	※ 煙 感 知 器	ス ポ ッ ト 型	イオン 光電 アナログ	○			
		分 離 型	/				
	※ 炎 感 知 器	赤外線 紫外線	/				
	※多信号感知器・複合式感 知 器		/				
	遠隔試験機能を有する感知 器		/				
	器 発	周 囲 の 状 況		○			
	信	外	形	P-1	○		
		表	示	AC24V	○		
		押しボタン・送受話器		DC24V	○		
表		示 灯		○			
機 音	外	形		○			
	取 付 状 態		○				
響 装	音 圧 等		db	○			
	鳴 動 方 式	一斉 区分 相互 再鳴動	○				
置	※ 蓄 積 機 能		○				
※ 二 信 号 機 能		/					

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付する

7 表中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

自 動 試 験 機 能	予備電源・非常電源		○					
	受信機の火災表示		○					
	受信機の注意表示		○					
	受信機・中継器の制御機能・電路		○					
	感 知 器		○					
	感知器回路・ベル回路		○					
総 合 点 検								
同 時 作 動			○					
※煙感知器等の感度 (自動試験機能を有するものを除く。)			/					
地 区 音 響 装 置 の 音 圧		97 dB	○					
※総合作動 (自動試験機能を有するものを除く。)			○					
備	※20年以上経過しておりリニューアル推奨							
考								
測	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名
定 機 器	加熱試験器	TS-201		大阪消防 設備	回 路 計	MCL- 400IR		マルチ計測器
	加煙試験器	TS-201		大阪消防 設備	騒 音 計	MS8209		MASTECH
	加煙試験器	FTGJ00 1-Z		能美防災				
	加熱試験器	HK-3		能美防災				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書
- 7 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不能。

別記様式第26

配線点検票（設備名 自動火災報知設備）																	
名 称	貝塚市立 青少年人権教育交流館					防 火 管 理 者											
所 在	大阪府貝塚市福田91					立 会 者											
点 検 種 別	総合点検		点検年月日	2025年3月14日													
点 検 者			点 検 者 所 属 会 社														
点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容										
			種 別 ・ 容 量 等 の 内 容 判 定 不 良 内 容														
総 合 点 検																	
専 用 回 路	地下キュービクル			○													
開 閉 器 ・ 遮 断 機	NFB 20 A			○													
ヒ ュ ー ズ 類				/													
絶 縁 抵 抗	常用 200 MΩ 非常 ー MΩ			○													
耐 熱 保 護				○													
備 考																	
測 定										機 器 名 型 式		校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名 型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	
機										絶縁抵抗計		2406D		YOKOGAWA			
器																	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

屋内消火栓設備点検票									
名 称		貝塚市立 青少年人権教育交流館				防火管理者			
所 在		大阪府貝塚市福田91				立 会 者			
点 検 種 別		総合点検		点 検 年 月 日		2025年3月14日			
点 検 者				点 検 者 所 属 会 社					
点 設 備 検 名		ポ ン プ		製造者名 荏原製作所		電 動 機		製造者名 荏原製作所	
				型 式 等 GMST6324122				型 式 等 3.7kw 4P 1K	
点 検 項 目				点 検 結 果				措 置 内 容	
				種 別 ・ 容 量 等 の 内 容		判 定		不 良 内 容	
機器点検									
水 源 加 圧 送 水 装 置	貯 水 槽	種別	地下RC	水槽	○				
	水 量			m ³	○				
	水 状				○				
	給 水 装 置				○				
	水 位 計				/				
	圧 力 計				/				
	バ ル ブ 類				○				
	ポ ンプ 電 機 制 御 装 置	周 囲 の 状 況		ポンプ室	○				
		外 形			○				
		表 示			○				
	電 圧 計 ・ 電 流 計	210 V	13.8 A	○					
	開 閉 器 ・ スイッチ類			○					
	ヒ ュ ー ズ 類		A	○					
	継 電 器			○					
	表 示 灯			○					
	結 線 接 続	D種接地工事		○					
	接 地			○					
	予 備 品 等			/					

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

屋内消火栓設備(その2)

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第2

屋内消火栓設備(その3)

配管等	管・管継手			○				
	支持金具・つり金具			○				
	バルブ類			○				
	ろ過装置			○				
	逃し配管			○				
	屋内	周囲の状況			○			
		消火栓箱	外形		○			
			表示		○			
	消火栓	ホース・ノズル	外形 1 号 消 火 栓	ホース ノズル径 15 m× 2本 13 mm	○			
			易操作性 1 号 消 火 栓・2 号 消 火 栓	鑑栓第 - 号	/			
操 作 性				○				
ホースの耐圧性能			6 本	○				
消 火 栓 開 閉 弁			○					
表 示 灯		専用 (兼用)	○					
等	始 動 表 示 灯			○				
	使 用 方 法 の 表 示			○				
耐	震 措 置		フレキシジョイント	○				
総 合 点 検								
ポンプ方式	起動性能等	加 圧 送 水 装 置		○				
		表 示 ・ 警 報 等		○				
		電 動 機 の 運 転 電 流	8.2 A	○				
		運 転 状 況		○				
	放 水 圧 力		0.42 MPa	○				
	放 水 量		ℓ/min	○				
高架水槽方式・ 圧力水槽方式	減 圧 の た め の 措 置			/				
	放 水 圧 力		MPa	/				
	放 水 量		ℓ/min	/				
備考	減 圧 の た め の 措 置			/				
測定機器	機器名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名
	ピトゲージ	TS-6020		日本サイレン	耐圧試験機	EHM-406		マルヤマエクセル
	絶縁抵抗計	MCL-400IR		マルチ計測器				
	回路計	2406D		YOKOGAWA				

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消火栓設備一覧表

名称

貝塚市立 青少年人権教育交流館

点検種別		総合点検	起動方式		自火報連動	
	設置階・設置場所	起動スイッチ	起動確認灯		位置表示灯	内容
1	1階	○	○		○	ホース2022年
2	2階	○	○		○	ホース2022年
3	3階	○	○		○	ホース2022年
4						
5						
備考						

別記様式第26

配 線 点 検 票 (設 備 名 屋内消火栓設備)									
名 称	貝塚市立 青少年人権教育交流館					防 火 管 理 者			
所 在	大阪府貝塚市福田91					立 会 者			
点 検 種 別	総合点検		点検年月日	2025年3月14日					
点 検 者			点 検 者 所 属 会 社						
点 検 項 目			点 検 結 果					措 置 内 容	
			種 別 ・ 容 量 等 の 内 容			判 定	不 良 内 容		
総 合 点 検									
専 用 回 路	ポンプ室			○					
開 閉 器 ・ 遮 断 機	A			○					
ヒ ュ ー ズ 類				○					
絶 縁 抵 抗	常用 200 MΩ 非常 ー MΩ			○					
耐 熱 保 護				○					
備 考									
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名	
	絶縁抵抗計	2406D		YOKOGAWA					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

非 常 警 報 器 具 及 び 設 備 点 検 票										
名 称	貝塚市立 青少年人権教育交流館				防火管理者					
所 在	大阪府貝塚市福田91				立 会 者					
点 検 種 別	総合点検		点検年月日	2025年3月14日						
点 検 者			点 検 者 所属会社							
点 設 備 名	操 作 部 ・ 複 合 装 置	製造者名	ビクター		増 幅 器	製造者名 ビクター				
		型式等	EP-K60 1992年製			型式等				
点 検 項 目	点 検 結 果				措 置 内 容					
	種 別 ・ 容 量 等 の 内 容 判 定				不 良 内 容					
機 器 点 検										
非 内 常 蔵 電 源	外 形	Ni-cd		○						
	表 示	24V 3.5Ah		○						
	端 子 電 圧	24 V		○						
	切 替 装 置	自動切換		○						
	充 電 装 置	トリクル充電		○						
非 常 ベ ル ・ 自 動 式 サ イ レ ン	結 線 接 続			○						
	起 動 装 置	周 囲 の 状 況			/					
		外 形			/					
		表 示			/					
		機 能			/					
	操 作 部	外 形			○					
		表 示			○					
		電 圧 計	V		/					
		ス イ ッ チ 類			○					
	複 合 装 置	ヒ ュ ー ズ 類	A		○					
		継 電 器			○					
		表 示 灯			○					
		結 線 接 続			○					
	サ イ レ ン	接 地	D種接地工事		○					
		予 備 品 等	ヒューズ		○					
外 形				○						
取 付 状 態				○						
ン	音 圧 等			○						
	鳴 動 方 式	一斉 区分 相互 再鳴動		○						
	表 示 灯			○						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第14

非常警報器具及び設備(その2)

放 起 動 装 置 増 幅 器 等 ス ピー カー 表 示 灯 警 鐘 ・ 等	周 囲 の 状 況		／			
		外 形 押 し ボ タ ン 等 発 信 機 ・ 非 常 電 話 自 動 火 災 報 知 設 備 と の 連 動		／		
				／		
				／		
				／		
	周 囲 の 状 況 外 形 表 示 電 圧 計 ス イ ッ チ 類 保 護 板 ヒ ュ ー ズ 類 継 電 器 計 器 類 表 示 灯 結 線 接 続 接 地 回 路 選 択 2 以 上 の 操 作 部 等 遠 隔 操 作 器 の 連 動 非 常 用 放 送 切 替 回 路 短 絡 音 声 警 報 音 火 災 音 信 号 マ イ ク ロ ホ ン 予 備 品 等		○			
			○			
			○			
		V	／			
			○			
			○			
		A	○			
			○			
			○			
			○			
			○			
		D種接地工事	○			
			○			
			／			
			／			
			○			
			／			
			○			
			○			
			○			
		○				
		○				
		○				
	外 形 取 付 状 態 音 圧 等 鳴 動 方 式 音 量 調 整 器		○			
			○			
			○			
		一斉 区分 相互 再鳴動	○			
			／			
表 示 灯		○				
周 囲 の 状 況 外 形 機 能		／				
		／				
		／				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

総 合 点 検								
音響装置・スピーカーの音圧		94	dB	○				
総 合 作 動				○				
測 定 機 器	機器名	型 式	校正年月日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名
	回路計	MCL-400IR		マルチ計測器				
	騒音計	MS8209		MASTEC H				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第26

配線点検票（設備名 非常警報器具及び設備）							
名 称	貝塚市立 青少年人権教育交流館					防 火 管 理 者	
所 在	大阪府貝塚市福田91					立 会 者	
点 検 種 別	総合点検	点検年月日	2025年3月14日				
点 検 者		点 検 者 所 属 会 社					
点 検 項 目	点 検 結 果					措 置 内 容	
	種 別 ・ 容 量 等 の 内 容 判 定 不 良 内 容						
総 合 点 検							
専 用 回 路	1階廊下分電盤		○				
開 閉 器 ・ 遮 断 機	20 A		○				
ヒ ュ ー ズ 類			/				
絶 縁 抵 抗	常用 200 MΩ 非常 - MΩ		○				
耐 熱 保 護			○				
備 考							
機 器 名 型 式	校正年月日	製 造 者 名	機 器 名 型 式	校正年月日	製 造 者 名		
絶縁抵抗計	2406D	YOKOGAWA					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

(その1)

防排煙設備点検票 1 (防火扉・シャッター・ダンパー・その他)					
名 称	貝塚市立 青少年人権教育交流館			防火管理者	
所 在	大阪府貝塚市福田91			立会者	
点検種別	総合点検	点検年月日	2025年3月14日		
点 検 者		点 検 者 所 属 会 社			
点 設 備 名	受 信 機	製造者名 ニッタン 型式等 NSS-8OUT-3L 2009.1月製			
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容
		種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容	
機 器 点 検					
予備電源・非常 (内蔵型)	外形	Ni-cd	○		
	表示	24V 1.2Ah	○		
	端子電圧	28V	○		
	切替装置	25V	○		
	充電装置	自動切換	○		
	結線状況	トリクル充電	○		
連 動 制 御 盤	周囲の状況		○		
	外形		○		
	表示		○		
	警戒区域の表示装置		○		
	電圧計		3/3	○	
	スイッチ類			○	
	フューズ類			○	
	継電器		1-10A	○	
	表示灯			○	
	結線接続			○	
	接地			○	
	附属装置		D種接地工事	○	
	注意表示			○	
回路導通			○		
予備品等			○		
感 知 器	取付状態		ヒューズ等	○	
	温度ヒューズ等			○	
	外形			○	
	熱感知器		差動 定温(再) 熱アナログ	/	
	煙感知器		イオン 光電 アナログ	○	
防 火 扉	取付状態			○	
	外形			○	
	周囲の状況			○	
	作動状態			○	

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

防排煙設備(その2)

シャッター	取 付 状 態			／			
	外 形			／			
	周 囲 の 状 況			／			
	作 動 状 態			／			
ダンパー	取 付 状 態			／			
	外 形			／			
	周 囲 の 状 況			／			
	作 動 状 態			／			
そ の 他	取 付 状 態			／			
	外 形			／			
	周 囲 の 状 況			／			
	作 動 状 態			／			
連 動 機 構				○			
総 合 点 検							
連 動 状 態				○			
総 合 作 動				○			
配 線 点 検 備 考 測 定 機 器	絶 縁 抵 抗	電 源 回 路	MΩ	○			
		感 知 器 回 路	MΩ	○			
		制 御 回 路	MΩ	○			
		付 属 回 路	MΩ	○			
	耐 熱 保 護			○			
		専 用 回 路		○			
		開 閉 器 ・ 遮 断 器		○			
機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名
加 熱 試 験 器	TS-201		大阪消防 設 備	回 路 計	MCL-400I		MASTEC H
加 熱 試 験 器	TS-201		大阪消防 設 備	絶 縁 抵 抗 計	2406D		YOKOG AWA
加 熱 試 験 器	FTGJ001- Z		能美防災				
加 熱 試 験 器	HK-3		能美防災				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

貝塚市立 青少年人権教育の総合点検

2025年3月14日

制御区画		総合連動点												点検結果	特記事項		
番号	表示区画・名称	専用感知器				自動閉鎖装置				防火シャッター	防火扉	注意喚起表示					
		光電式 スポット型感知器	イオン化式 スポット型感知器	定温式 スポット型感知器		防火シャッター	防火扉					音響装置	音声発生装置			標識	注意灯
1	1 階		○				○									○	
2	2 階		○				○									○	
3	3 階		○				○									○	
4																	
5																	
※特記																	

非常電源(自家発電設備)点検票 (設備名 屋内消火栓)							
名 称		貝塚市立 青少年人権教育交流館					
所 在		大阪府貝塚市福田91					
点検種別		総合点検	点検年月日	2025/3/14			
点 検 者			点 検 者 所属会社				
点 検 設備名	原動機	製造者名	クボタ	発電機	製造者名	ニシハツ	
		型 式 等	D1105		型 式 等	PI042G	
点 検 項 目			点 検 結 果			措置内容	
			種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容		
機 器 点 検							
設置 状況	周 囲 の 状 況		屋上	○			
	区 画 等		キュービクル式・それ以外	○			
	水 の 浸 透			○			
	換 気		(自然) 機械	○			
	照 明			○			
	標 識			○			
	機 能			○			
表 示				/			
自家 発電 装置	原動機・発電機		種類: / 21KVA	○			
	冷却装置	ラジエータ、配管		○			
		冷却ファン		○			
	潤滑油類			○			
	その他付属機器			○			
始動装置	※始動用蓄電池設備			○			
	始動用 空気 圧縮 装置	外形		/			
		空気だめ	MPa	0	/		
		潤滑油類		/			
	始動用燃料			/			

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 票中※印のあるものは、非常電源(蓄電池設備)点検票を添付すること

別記様式第24

非常電源(自家発電設備)(その2)

制御装置	周囲の状況		○		
	発電機盤		○		
	自動始動盤		○		
	補器盤		/		
	電源表示灯		○		
	表示灯		○		
	開閉器・遮断機		○		
	ヒューズ類	A	○		
	継電器		○		
保護装置			○		
計器類			○		
燃料容器	外形		○		
	燃料貯蔵量	種類 軽油 22/30 ℓ	○		
冷却水タンク	外形	ラジエータ	○		
	水量	3.4 ℓ	○		
排気塔	周囲の状況		○		
	外形		○		
	貫通部		○		
配管			○		
結線接続			○		
接地		D 種接地	○		
始動性能			○		
運転性能	運転状況		○		
	換気		○		
停止性能	手動停止		○		
	自動停止		○		
耐震処置			/		
予備品など			/		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 票中※印のあるものは、非常電源(蓄電池設備)点検票を添付すること。

別記様式第24

非常電源（自家発電設備）（その3）

総合点検										
接地抵抗		D 種		9 Ω		○				
絶縁抵抗				200 MΩ 以上		○				
自家発電装置の接続部						○				
始動装置	※始動用蓄電池設備						○			
	始動用空気圧縮設備				0		／			
	始動用補助設備						○			
保護装置						○				
※※運転性能	負荷運転				5.04 kw		○			
	内部観察など						○			
切替性能	運転切替性能						○			
	※蓄電池切替性能						／			
	始動用燃料切替性能						○			
備考	電気主任技術者		氏名 奥田 慎太郎		番号					
	負荷運転もしくは内部観察の最終実施年月				令和6 年		9 月			
測定機器	機 器 名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型 式	校正年月日	製造者名		
	絶縁抵抗計	2406D		YOKOGAWA						

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 票中※印のあるものは、非常電源(蓄電池設備)点検票を添付すること。

7 票中※※印のあるものは、当該点検項目の最終実施年月を備考欄に記入し、別表第24第2項(6)に規定する運転性能の維持に係る予防的な保全策が講じられている場合は当該保全策を講じていることを示す書類を添付すること。

青少年人権教育交流館



誘導灯 不使用
※避難先階段劣化のため



1階 玄関前廊下
蓄電池不良



消 防 用 設 備 等（特殊消防用設備等）点 検 結 果 報 告 書

6 年 1 / 月 22 日

貝塚市消防長 殿

届 出 者

住 所 大阪府貝塚市島中一丁目1番1号

氏 名 貝塚市市長 酒井 了

電話番号 072-433-7200



下記のとおり消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。

記

防 火 対 象 物	所 在 地	大阪府貝塚市島中一丁目12-1						
	名 称	貝塚市立 市民図書館						
	用 途	8 項						
	規 模	地上	3	階	地下	- 階	延べ面積	2,599.79
消防用設備等（特殊消防用設備等）の種類等		消火器具・屋内消火栓設備・自動火災報知設備・非常警報器具及び設備・避難器具・誘導灯及び誘導標識・防排煙設備						
		※備 考						
		消防法の規定に基づき不良箇所を早急に改修すること 台 帳 記 入 済 デ ー タ 処 理 済						

備考

- 2 消防設備士又は消防設備点検資格者が点検を実施した場合は、点検を実施した全ての者の情報を別記様式第3に記入し、添付すること。
- 3 消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
- 4 ※印欄は、記入しないこと。

台 帳 作 成 済 み



消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果総括表

(その1)

名 称	貝塚市立 市民図書館		防 火 管 理 者		
所 在 地	大阪府貝塚市島中一丁目12-1		点検実施責任者		
点 検 種 別	機器点検・総合点検 (設備等設置維持計画による点検)		点検年月日	令和6年9月30日 ~ 令和6年9月30日	
設 備 名	点 検 結 果		措 置 内 容	立 会 者	
	判 定	不 良 内 容			
消 火 器 具	良・不良				
屋 内 消 火 栓 設 備	良・不良	不良箇所一覧表参照			
自 動 火 災 報 知 設 備	良・不良				
非 常 警 報 器 具 及 び 設 備	良・不良				
避 難 器 具	良・不良				
誘 導 灯 及 び 誘 導 標 識	良・不良	不良箇所一覧表参照			

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合は「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。
3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

設 備 名	点 検 結 果		措 置 内 容	立 会 者
	判 定	不 良 内 容		
防 排 煙 設 備	良・不良	不良箇所一覧表参照		
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合は「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。

3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表

点 検 者						設 備 名
住 所					氏 名	消火器具 屋内消火栓設備 自動火災報知設備 非常警報器具及び設備 避難器具 誘導灯及び誘導標識 防排煙設備
社 名					電話番号	
資 格		消 防 設 備 士				
種 類 等		交付年月日	交付番号	交付知事	講習受講年月	
甲 種	特 類	年 月 日			年 月	
	1 類					
	2 類					
	3 類					
	4 類					
	5 類					
	6 類					
	7 類					
備 考						
資 格		消 防 設 備 点 検 資 格 者				
種 類 等		交付年月日	交付番号	有効期限		
特	種	年 月 日		年 月 日		
第 1	種	年 月 日		年 月 日		
第 2	種	年 月 日		年 月 日		

点 検 者						設 備 名
住 所					氏 名	
社 名					電話番号	
資 格		消 防 設 備 士				
種 類 等		交付年月日	交付番号	交付知事	講習受講年月	
甲 種	特 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	1 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	2 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	3 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	4 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	5 類	年 月 日			年 月	
乙 種	6 類	年 月 日			年 月	
乙 種	7 類	年 月 日			年 月	
備 考						
資 格		消 防 設 備 点 検 資 格 者				
種 類 等		交付年月日	交付番号	有効期限		
特	種	年 月 日		年 月 日		
第 1	種	年 月 日		年 月 日		
第 2	種	年 月 日		年 月 日		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 住所、社名及び電話番号の欄は、点検者が会社(会社以外の法人に所属する場合は当該法人)に所属する場合には、当該所属する会社の住所、社名及び電話番号を記入すること。

3 資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習受講年月、有効期限を記載すること。

4 誘導灯及び誘導標識の点検を実施した者は、備考欄に電気工事士法(昭和35年法律第139号)第3条に規定する電気工事士免状又は電気事業法(昭和39年法律第170号)第44条第1項に規定する第一種電気主任技術者免状、第二種電気主任技術者免状若しくは第三種電気主任技術者免状のいずれかの免状の種類、交付番号及び交付年月日を記載すること。(第二種消防設備点検資格者の免状の交付を受けている者を除く。)

消 火 器 具 点 検 票										
名 称	貝塚市立 市民図書館						防 火 管理者			
所 在	大阪府貝塚市畠中一丁目12-1						立会者			
点検種別	機 器 点 検		点検年月日	令和 6 年 9 月 30 日 ～ 令和 6 年 9 月 30 日						
点 検 者			点 検 者 所 属 会 社							
点 検 項 目			点 検 結 果					措 置 内 容		
			消 火 器 の 種 別							
			A	B	C	D	E		F	判 定
機 器 点 検										
設 置 状 況	設 置 場 所	○			○			○		
	設 置 間 隔	○			○			○		
	適 応 性	○			○			○		
	耐 震 措 置	/			/			/		
表 示 ・ 標 識		○			○			○		
消 火 器 の 外 形	本 体 容 器	○			○			○		
	安 全 栓 の 封	○			○			○		
	安 全 栓	○			○			○		
	使用済みの表示装置	/			/			/		
	押し金具・レバー等	○			○			○		
	キ ャ ッ プ	○			○			○		
	ホ ー ス	○			○			○		
	ノズル・ホーン・ノズル栓	○			○			○		
	指 示 圧 力 計	○			/			○		
	圧 力 調 整 器	/			/			/		
	安 全 弁	○			/			○		
	保 持 装 置	/			/			/		
	車 輪 (車 載 式)	/			/			/		
ガス導入管(車載式)	/			/			/			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消火器具の内部等機能	本・体内容筒器等	本体容器	○			/			○		
		内筒等	/			/			/		
		液面表示	/			/			/		
	消火剤	性状	○			/			○		
		消火薬剤量	○			/			○		
	加圧用ガス容器	/			/			/			
	カッター・押し金具	○			/			○			
	ホース	○			/			○			
	開閉式ノズル・切替式ノズル	/			/			/			
	指示圧力計	○			/			○			
	使用済みの表示装置	/			/			/			
	圧力調整器	/			/			/			
	安全弁・減圧孔 (排圧栓を含む。)	○			/			○			
	粉上り防止用封板	/			/			/			
	パッキン	○			/			○			
	サイホン管・ガス導入管	○			/			○			
	ろ過網	/			/			/			
放射能力	○			/			○				
消火器具の耐圧性能		/			/			/			
簡火用消具	外形	/	/	/	/	/	/	/			
	水量等	/	/	/	/	/	/	/			
備考											
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名			
	秤量計	0~20kg		シンワ測定(株)							
	キャップスパナ			宮田工業(株)							

器 種 名	設 置 数	点 検 数	合 格 数	要 修 理 数	廃 棄 数
(外 形)					
粉蓄10型	11	11	11		
CO ₂	1	1	1		
(機 能)					
粉蓄10型	11	1	1		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 消火器具の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消 火 器 点 檢 台 帳

物件名称：貝塚市立 市民図書館

No. 1

[illegible]

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 点検種別(機能・詰替)欄は、実施した日付を記入する。

屋 内 消 火 栓 設 備 点 検 票									
名 称	貝塚市立 市民図書館						防 火 管 理 者		
所 在	大阪府貝塚市島中一丁目12-1						立 会 者		
点検種別	(機 器)・(総 合)		点検年月日	令 和 6 年 9 月 30 日 ~ 令 和 6 年 9 月 30 日					
点 検 者			点 検 者 所 属 会 社						
点 検 設 備 名	ポ ン プ	製 造 者 名			電 動 機	製 造 者 名			
		型 式 等				型 式 等			
点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容		
			種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容				
機 器 点 検									
水 源	貯 水 槽	種別	地下式受水槽		○				
	水 量	有効水量		m ³	○				
	水 状				○				
	給 水 装 置	ボールタップ方式			○				
	水 位 計	電極方式			○				
	圧 力 計				/				
	バ ル ブ 類				○				
加 圧 送 水 装 置	ポ ンプ 電 動 機 の 制 御 装 置	周 囲 の 状 況	1階ポンプ室		○				
		外 形	ユニット型		○				
		表 示			○				
		電 圧 計 ・ 電 流 計	AC200 V 39 A		○				
		開 閉 器 ・ スイッチ類	MCB		○				
		ヒ ュ ー ズ 類	A		○				
		継 電 器			○				
		表 示 灯			○				
		結 線 接 続			○				
		接 地	D 種接地		○				
		予 備 品 等	ヒューズ等		○				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

加 圧 送 水 装 置	ポ ン プ 機 式	起 動 装 置	直接操作部	周囲の状況	制御盤	○			
				外形	押釦	○			
				表示		○			
				機能		○			
		動 作 部	遠隔操作部	周囲の状況	消火栓組込	○			
				外形	ON・OFF式	○			
				表示		○			
				機能	専用 (兼用)	○			
		装 置	遠隔起動部	周囲の状況		/			
				外形		/			
				機能		/			
			起開閉用圧置機	圧力スイッチ	設定圧力 MPa	/			
	電 動 機 ポ ン プ 機 式	電 動 機		起動用圧置機		MPa	/		
					作動圧力 MPa	/			
				外形	11kw	○			
				回転軸	1750 rpm	○			
				軸受部	グリス潤滑	○			
		ポ ン プ		軸継手	フランジ式	○			
				機能	直入れ始動	○			
				外形		○			
				回転軸	1800 rpm	○			
				軸受部	グリス潤滑	○			
		機 式		グラント部	グラントパッキン	○			
				連成計・圧力計		○			
				性能	0.69 MPa 450 L/min	○			
			呼 水 装 置		呼水槽	100 L	○		
					バルブ類		○		
				自動給水装置	ボールタップ方式	○			
				減水警報装置		○			
				フート弁		○			
性 能 試 験 装 置		性能試験装置	流量計	○					
		高架水槽方式	MPa	/					
		圧力水槽方式	MPa	/					
減圧のための措置					/				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

配管等	管・管継手			○					
	支持金具・つり金具			○					
	バルブ類			○					
	ろ過装置			○					
	逃し配管			○					
屋内消火栓箱等	消火栓箱		周囲の状況		○				
			外形		○				
			表示		○				
	ホース・ノズル	外形	1号消火栓	ホース 15 m×12本	ノズル径 13 mm	○			
			易操作性1号消火栓・2号消火栓・広範囲型2号消火栓	ホース m×本	ノズル径 mm	/			
		操作性			/				
		ホースの耐圧性能			×	備考欄 1)			
		消火栓開閉弁			○				
	表示灯		専用 (兼用)	○					
	始動表示灯			○					
	使用方法の表示			○					
	降下装置	周囲の状況			/				
		外形			/				
		表示灯			/				
		表示			/				
機能			/						
耐震措置		フレキシブル継手	○						
総合点検									
ポンプ方式	起動性能等	加圧送水装置		○					
		表示・警報等		○					
		電動機の運転電流	20 A	○					
		運転状況		○					
	放水圧力		0.42 MPa	○					
	放水量		226.16 L/min	○					
	減圧のための措置			/					
高架水槽方式・ 圧力水槽方式	放水圧力		MPa	/					
	放水量		L/min	/					
	減圧のための措置			/					
備考	※) 締切運転: 16A 0.76MPa 性能運転: 30A 0.7MPa 450L/min ※) 補給水槽満減警報出ず。 1) 消火栓ホース(2013年製)×1本 製造年より10年経過の為、耐圧性能点検又は、取替を要します。(2階西) ※) 消火水槽 常時減水発報中の為、処理中								
	測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
		回路計	1110	R4.10	日置電機(株)				
		圧力測定器	T-2540	R4.10	立売堀製作所				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消 火 栓 箱 点 檢 明 細 表

[illegible]

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

配 線 点 検 票 (設 備 名 屋内消火栓設備)								
名 称	貝塚市立 市民図書館				防 火 管 理 者			
所 在	大阪府貝塚市島中一丁目12-1				立 会 者			
点検種別	総 合		点検年月日	令和 6 年 9 月 30 日 ~ 令和 6 年 9 月 30 日				
点 検 者			点 検 者 所 属 会 社					
点 検 項 目			点 検 結 果			措 置 内 容		
			種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容			
総 合 点 検								
専 用 回 路	キュービクル		○					
開 閉 器 ・ 遮 断 器			○					
ヒ ャ ー ズ 類			/					
絶 縁 抵 抗	常用 50 MΩ 非常 MΩ		○					
耐 熱 保 護			○					
備 考								
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名
	絶縁抵抗計	3323A	R4.10	共立電気計器㈱				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

自 動 火 災 報 知 設 備 点 検 票									
名 称	貝塚市立 市民図書館						防 火 管 理 者		
所 在	大阪府貝塚市畠中一丁目12-1						立 会 者		
点検種別	(機 器)・(総 合)		点検年月日	令 和 6 年 9 月 30 日 ~ 令 和 6 年 9 月 30 日					
点 検 者			点 検 者 所 属 会 社						
点 検 名	受 信 機		製 造 者 名	ニッタン株式会社 1988年11月					
設 備 名			型 式 等	受第61~18~4 1PF1-nYe					
点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容		
			種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容				
機 器 点 検									
予 備 電 源 ・ 非 常 電 源 (内蔵型)	外 形	示 示	古河 20-S113A	○					
	表 示	示 示	24V 1.2Ah 12~6	○					
	※ 端子電圧	電 圧	DC 26 V	○					
	※ 切替装置	装 置	自動切替	○					
	※ 充電装置	装 置	トリクル充電	○					
	※ 結線接続	接 続	コネクター接続	○					
受 信 機	周 囲 の 状 況		1階 事務所内 設置	○					
	外 形	示 示	P型1級 (蓄積式)	○					
	表 示	示 示	火災受信所板	○					
	警 戒 区 域 の 表 示 装 置		10/15L回線	○					
	電 圧	計 計	DC25 V	○					
	ス イ ッ チ 類	レバー式		○					
	ヒ ュ ー ズ 類	1.2.3.4.6 A		○					
	※ 継 電 器			○					
	表 示 灯			○					
	通 話 装 置			○					
	※ 結 線 接 続			○					
	接 地		D種接地工事	○					
中 継 器	附 属 装 置		警備会社	○					
	※火災表示等	蓄 積 式		○					
		ア ナ ロ グ 式		/					
		二 信 号 式		/					
		そ の 他		/					
	※ 注 意 表 示			/					
	回 路 導 通		自動検出	○					
	設 定 表 示 温 度 等			/					
感 知 器 作 動 等 の 表 示			○						
予 備 品 等		ヒューズ等	○						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 6 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

感 知 器	外 形		○			
	警 戒 状 況	未 警 戒 部 分		○		
		感 知 区 域		○		
		適 応 性		○		
		機 能 障 害		○		
	※ 熱 感 知 器	ス ポ ッ ト 型	差動 定温(再) 熱アナログ	○		
		分 布 型	空 気 管 式	/		
			熱電対式・熱半導体式	/		
		感 知 線 型	/			
		※ 煙 感 知 器	ス ポ ッ ト 型	イオン 光電 アナログ	○	
分 離 型	/					
※ 炎 感 知 器	赤外線 紫外線		/			
※ 多信号感知器・複合式感知器	/					
遠隔試験機能を有する感知器	/					
発 信 機	周 囲 の 状 況		○			
	外 形	P型1級埋込型	○			
	表 示		○			
	押 し ボ タ ン ・ 送 受 話 器		○			
	表 示 灯	AC24V	○			
音 響 装 置	外 形	DC24V	○			
	取 付 状 態		○			
	音 圧 等		○			
	鳴 動 方 式	一斉 区分 相互 再鳴動	○			
※ 蓄 積 機 能		受信機側	○			
※ 二 信 号 機 能			/			

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整理状況等を記録した書類を添付すること。

7 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

自動試験機能	予備電源・非常電源		/					
	受信機の火災表示		/					
	受信機の注意表示		/					
	受信機・中継器の制御機能・電路		/					
	感知器		/					
	感知器回路・ベル回路		/					
無線機能			/					
総合点検								
同時作動			○					
※煙感知器等の感度			○					
地区音響装置の音圧			○					
※総合作動			○					
備考								
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	回路計	1110	R4.10	日置電機㈱				
	加熱試験器	HK-3	R5.3	保安協会				
	加煙試験器	FTG-012	R5.4	能美防災㈱				
	煙感知器用感度試験器	JFA-Ⅱ-A	R5.3	火報工業				
	普通騒音計	NA-02	R5.3	ミリオン㈱				

備考

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整理状況等を記録した書類を添付すること。
- 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

配 線 点 検 票 (設 備 名 自動火災報知設備)								
名 称	貝塚市立 市民図書館					防 火 管 理 者		
所 在	大阪府貝塚市畠中一丁目12-1					立 会 者		
点検種別	総 合		点検年月日	令和 6 年 9 月 30 日 ~ 令和 6 年 9 月 30 日				
点 検 者			点 検 者 所 属 会 社					
点 検 項 目			点 検 結 果			措 置 内 容		
			種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容			
総 合 点 検								
専 用 回 路				○				
開 閉 器 ・ 遮 断 器			NFB 20A	○				
ヒ ュ ー ズ 類				/				
絶 縁 抵 抗			常用 30 MΩ 非常 MΩ	○				
耐 熱 保 護				○				
備 考								
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名
	絶縁抵抗計	3323A	R4.10	共立電気計器㈱				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

非常警報器具及び設備点検票										
名 称	貝塚市立 市民図書館						防 火 管 理 者			
所 在	大阪府貝塚市畠中一丁目12-1						立 会 者			
点検種別	機器・総合		点検年月日	令和6年9月30日 ~ 令和6年9月30日						
点 検 者			点 検 者 所 属 会 社							
点 検 設 備 名	操作部・ 複合装置	製造者名 日本ビクター 型 式 等 k-50S			増 幅 器	製造者名 型 式 等				
点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容			
			種別・容量等の内容		判定	不良内容				
機 器 点 検										
非常電源 (内蔵型)	外	形			○					
	表	示	3500mAh-5HR(1988)		○					
	端 子	電 圧	28.0 V		○					
	切 替	装 置	自動切替		○					
	充 電	装 置	トリクル充電		○					
	結 線	接 続			○					
非 常 ベ ル ・ 自 動 式 サ イ レ ン	起 動 装 置	周 囲 の 状 況			/					
		外	形			/				
		表	示			/				
		機	能			/				
	操 作 部 ・ 複 合 装 置	外	形			/				
		表	示			/				
		電 圧	計	V		/				
		ス イ ッ チ	類			/				
		ヒ ュ ー ズ	類	A		/				
		継	電 器			/				
		表	示 灯			/				
		結 線	接 続			/				
	ペ ル ・ サ イ レ ン	接	地			/				
		予 備	品 等			/				
		外	形			/				
		取 付	状 態			/				
音 圧		等			/					
鳴 動		方 式	一斉 区分 相互 再鳴動		/					
表	示 灯			/						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

放 送 設 備	起 動 装 置	周 囲 の 状 況	制御盤組込	○		
		外 形		○		
		押 し ボ タ ン 等		○		
		発 信 機 ・ 非 常 電 話		/		
		自動火災報知設備との連動		/		
	増 幅 器 等	周 囲 の 状 況	1階 事務所内	○		
		外 形		○		
		表 示		○		
		電 圧 計	28.0 V	○		
		ス イ ッ チ 類		○		
		保 護 板		○		
		ヒ ュ ー ズ 類	1.2.3.8 A	○		
		継 電 器		○		
		計 器 類		○		
		表 示 灯		○		
		結 線 接 続		○		
		接 地		○		
		回 路 選 択		○		
		2 以 上 の 操 作 部 等		/		
		遠 隔 操 作 器 の 連 動		/		
		非 常 用 放 送 切 替		○		
		※地震動予報等に係る放送切替		/		
		回 路 短 絡		○		
		音 声 警 報 音		○		
		火 災 音 信 号		○		
	マ イ ク ロ ホ ン		○			
	予 備 品 等		○			
	ス ピー カー	外 形		○		
		取 付 状 態		○		
		音 圧 等		○		
鳴 動 方 式		一斉 区分 相互 再鳴動	○			
音 量 調 整 器			○			
表 示 灯		○				
警 鐘 ・ 等	周 囲 の 状 況		/			
	外 形		/			
	機 能		/			

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 票中※印のあるものは、消防法施行規則(昭和36年自治省令第6号)第二十五条の二第二項第三号りに規定する地震動予報等に係る放送を行う場合に限る。

[illegible]

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

避難器具点検票						
名 称	貝塚市立 市民図書館			防 火 管 理 者		
所 在	大阪府貝塚市畠中一丁目12-1			立 会 者		
点検種別	(機 器)・(総 合)		点検年月日	令和6年9月30日～令和6年9月30日		
点 検 者			点 検 者 所 属 会 社			
設 置 階	2 階					
設 置 場 所	2階南・2階西					
点 検 項 目			点 検 結 果			
			種 別・容 量 等 の 内 容	判 定	不 良 内 容	
機 器 点 検						
周 囲 の 状 況	設 置 場 所	2階南・2階西		○		
	操 作 面 積 等			○		
	開 口 部			○		
	降 下 空 間			○		
	避 難 空 地			○		
標 識			○			
器 具 本 体	避 難 は し こ ぎ	縦 棒		○		
		横 さ ん		○		
		突 子		○		
		結 合 部 等		○		
		可 動 部	外 形 機 能	○ ○		
		つ り 下 げ 金 具		○		
	緩 降 機	調 速 機	外 形 機 能	/	/	
		調 速 機 の 連 結 部		/		
		ロ ー プ		/		
		着 用 具		/		
ロープと着用具の繋結部		/				
す べ り 台	底 板 及 び 側 板		○			
	す べ り 面 の 勾 配		○			
	手 す り		○			
	す べ り 棒		/			
避 難 ロ ー プ	ロ ー プ 本 体		/			
	結 合 部		/			
	つ り 下 げ 金 具		/			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

器 具 本 体	避難橋	床板、手すり等			/			
		接合部			/			
		可動部	外形		/			
			機能		/			
	避難用タラップ	踏み板、手すり等			/			
		接合部			/			
		可動部	外形		/			
			機能		/			
	救助袋	本体布及び展張部材			/			
		縫い合せ部			/			
		保護装置(斜降式の救助袋に限る。)			/			
		結合部			/			
可動部		外形		/				
		機能		/				
取 付 具 ・ 支 持 部	取付具			/				
	可動部			/				
	支持部			/				
	固定環			/				
	ハッチ	上蓋		/				
		下蓋		/				
		使用方法の表示		/				
	格納状況	格納箱			○			
格納状況			○					
総合点検								
器具の取付け等				○				
降下				○				
格納				○				
備 考	※) 避難はしご: 上田消防建設(株) は第52~5~1号 城田鉄工株式会社×2台 ①1989年1月製 13.2kg ②1988年10月製 12.4kg 避難滑り台: 山陽建工(株)							
測 定 機 器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	トルクレンチ	N70 TOK		(株)中村製作所				
	ストップウォッチ			セイコー				
	巻尺			京都度器				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

誘導灯及び誘導標識点検票

名 称	貝塚市立 市民図書館					防 火 管理者		
所 在	大阪府貝塚市畠中一丁目12-1					立会者		
点検種別	機 器		点検年月日	令和6年9月30日～令和6年9月30日				
点 検 者			点 検 者 所 属 会 社					
点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容	
			種別・容量等の内容			判 定		不 良 内 容
			避難口	通 路	客 席			
機 器 点 検								
誘 導 灯	外箱・表示面	種 類			/	○		
		視 認 障 害 等			/	○		
		外 形			/	○		
		表 示			/	○		
	非 常 電 源 (内 蔵 型)	外 形			/	○		
		表 示			/	○		
		機 能	1		/	×	備考欄 1)	
	光 源				/	○		
	点 検 ス イ ッ チ				/	○		
	ヒ ュ ー ズ 類				/	○		
	結 線 接 続				/	○		
	信 号 装 置 等	外 形	/	/	/	/		
結 線 接 続		/	/	/	/			
機 能		/	/	/	/			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

誘 導 標 識	外 形	／	／	／	／			
	視 認 障 害 等	／	／	／	／			
	採 光 又 は 照 明	／	／	／	／			
	※ 表 示 面 の 輝 度	／	／	／	／			
	※ 設 置 場 所 の 照 度	／	／	／	／			
	※※ ヒ ュ ー ズ 類	／	／	／	／			
	※※ 結 線 接 続	／	／	／	／			
	※※※ 非常電源	外 形	／	／	／	／		
		表 示	／	／	／	／		
機 能		／	／	／	／			
備 考	※）誘導灯一覧表参照 1）1階裏口 小形避難口誘導灯 バッテリー不良の為、取替を要します。 （FK341 2.4V 2000mAh 天吊 片面）							
	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名
	回路計	1110	R4.10	日置電機(株)				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量などの内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 票中※印のあるものは、消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第28条の2第1項第3号ハ並びに第28条の3第4項第3号の2及び第10号に規定する蓄光式誘導標識、「誘導灯及び誘導標識の基準」（平成11年消防庁告示第2号）第5第3号（5）に規定する高輝度蓄光式誘導標識に限る。

7 票中※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識に限る。

8 票中※※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識のうち、内蔵型の電源を有するものに限る。

誘導灯設置一覽表

[illegible]

(その1)

防 排 煙 設 備 点 検 票 ((防火扉) シャッター ・ ダンパー ・ (その他))

名 称	貝塚市立 市民図書館			防 火 管 理 者	
所 在	大阪府貝塚市島中一丁目12-1			立 会 者	
点検種別	(機 器) ・ (総 合)		点 検 年 月 日	令 和 6 年 9 月 30 日 ~ 令 和 6 年 9 月 30 日	
点 検 者			点 検 者 所 属 会 社		
点 検 設 備 名	連 動 制 御 盤		製 造 者 名	ニッタン(株) 1988年11月	
			型 式 等	受第61~18~4号 1PF1-nYe	
点 検 項 目			点 検 結 果		措 置 内 容
			種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容
機 器 点 検					
予 備 電 源 ・ 非 常 電 源 (内蔵型)	外 形	密閉型Ni-cd蓄電池	○		
	表 示		○		
	端 子 電 圧	26 V	○		
	切 替 装 置	自動切替	○		
	充 電 装 置	トリクル充電	○		
	結 線 接 続	コネクター接続	○		
連 動 制 御 盤	周 囲 の 状 況	1階 事務所内設置	○		
	外 形	P型1級(蓄積式)	○		
	表 示	13 / 15 回線	○		
	警 戒 区 域 の 表 示 装 置		○		
	電 圧 計	25 V	○		
	ス イ ッ チ 類		○		
	ヒ ュ ー ズ 類	1.4.5.8 A	○		
	継 電 器		○		
	表 示 灯		○		
	結 線 接 続		○		
	接 地	D種接地工事	○		
	附 属 装 置		○		
	注 意 表 示		/		
防 火 扉	回 路 導 通	自動検出	○		
	予 備 品 等		○		
	取 付 状 態		○		
	温 度 ヒ ュ ー ズ 等		○		
感 知 器	外 形		○		
	熱 感 知 器	差動 定温(再) 熱アナログ	/		
	煙 感 知 器	イオン (光電) アナログ	○		
	取 付 状 態		○		
防 火 扉	外 形		○		
	周 囲 の 状 況		○		
	作 動 状 態		×	備考欄 1)	

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄には、該当事項に○印を付すること。

5 選択内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

シャッター	取付状態		○					
	外形		○					
	周囲の状況		○					
	作動状態		○					
ダンパー	取付状態		/					
	外形		/					
	周囲の状況		/					
	作動状態		/					
その他	取付状態		○					
	外形		○					
	周囲の状況		○					
	作動状態		○					
連動機構			○					
総合点検								
連動状態			○					
総合作動			○					
配線点検	絶縁抵抗	電源回路	常用 MΩ 非常 MΩ	○				
		感知器回路	MΩ	○				
		制御回路	MΩ	○				
		附属回路	MΩ	/				
	耐熱保護			○				
	専用回路			○				
	開閉器・遮断器			○				
備考	1) 3階防火扉 不作動の為、ラッチの取替を要します。							
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	加熱試験器	HK-3	R5.3	保安協会				
	回路計	1110	R4.10	日置電機(株)				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄には、該当事項に○印を付すること。

5 選択内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

警 戒 区 域		設 備				煙 感 知 器				熱 感 知 器	手 動 起 動 装 置	点 検 結 果	備 考
番 号 No.	名 称	ダ ン パ ー	シ ャ ッ タ ー	防 火 扉	そ の 他	排 煙 口	垂 れ 壁	イ オ ン 化 式	光 電 式				
D-1	1階 防火戸階段B			1					1			○	
D-2	1階 防火戸一般開架室			2					1			○	
D-3	1階 防火戸事務作業室			1					1			○	SS-1連動
D-4	1階 階段、A便所		1	3					1			○	
D-5	2階 防火戸階段B			1					1			○	
D-6	2階 防火戸2階廊下			1					2			○	
D-7	2階 防火戸階段A			1					1			○	
D-8	3階 防火戸階段A			1					1			×	ラッチ不良
SS-1	1階 防火シャッター		1						3			○	D-3連動
SW-1	1階 垂れ壁中央					2			1			○	
SW-2	1階 垂れ壁東					3			1			○	
SW-3	1階 垂れ壁西					4			2			○	
SW-4	2階 垂れ壁					1			2			○	
合 計			2	11		10			18				

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

不良箇所一覽表

[illegible]